

—令和3年度発掘調査報告—

埋蔵文化財調査報告書

2023年8月

福崎町教育委員会

—令和3年度発掘調査報告—

埋蔵文化財調査報告書

2023年8月

福崎町教育委員会

あいさつ

福崎町では、現在 157 か所の埋蔵文化財包蔵地が周知されており、これまでに本町教育委員会により数々の発掘調査が行われてきました。

このたび、令和 3 年度に行った埋蔵文化財調査の成果を報告書にまとめ、刊行する運びとなりました。今回の報告は、民間開発等に伴う発掘調査のほか、高岡・福田地区および山崎地区は場整備事業に伴う試掘確認調査の成果となっています。工事着手前に調査を行うことで、新たに発見された埋蔵文化財があり、適正に記録保存を行うことができました。

最後になりましたが、調査にあたり工事関係者をはじめ近隣住民のみなさまにご理解とご協力を賜りました。厚くお礼申し上げます。

令和 5 年 8 月

福崎町教育委員会
教育長 高橋 渉

例言

1. 本書は、福崎町教育委員会が令和 3 年度国庫補助事業として実施した発掘調査報告書である。また、報告書作成のため、令和 5 年度の国庫補助事業の一環として遺物整理作業を実施した。
2. 調査は、福崎町教育委員会が主体となり実施した。経費は、国庫補助金である。
3. 報告書は同じく補助金を充て福崎町教育委員会が主体となり作成した。
4. 調査体制は以下の通りである。

調査・管理事務局

教 育 長	高橋 渉
社 会 教 育 課 長	松田 清彦 (令和 3 年度)
社 会 教 育 課 長	木ノ本雅佳 (令和 5 年度)
社会教育課副課長	森 公宏 (令和 3 年度)
社会教育課長補佐	鷲尾 進吾 (令和 5 年度)
社会教育課係長	藤原 元 (令和 3 年度)
社会教育課係長	長谷川幸子
社会教育課主査	樋口 碧
社会教育課主事	井奥 直人 (令和 5 年度)

整理作業・報告書担当

社会教育課主査	樋口 碧
埋蔵文化財専門員	渡辺 昇
整 理 作 業 員	梶 智美
整 理 作 業 員	福永 明子
整 理 作 業 員	原井川奈美
整 理 作 業 員	常陰ひとみ

5. 本書に使用した方位は基本的に磁北で、標高は福崎町設定の基準点を使用している。
6. 本書に掲載した図のうち調査地点の位置は福崎町発行の都市計画図 (1/2,500) を、グリッド等配置図は福崎町都市計画図 (1/500) を編集したものである。調査地点の位置は 1/5,000、グリッド配置図は 1/1,000 で示している。縮尺の異なるものについては各図の下に示している。
7. 掲載する遺跡はすべて福崎町教育委員会が調査主体となり実施した。整理作業も同様である。
8. 執筆は樋口・渡辺が行い、編集は梶・福永・原井川・常陰の協力を得た。
9. 本報告に係る図面、写真、遺物等は、福崎町教育委員会にて保管している。
10. 調査・整理作業において多くの方々や機関にご指導・ご協力をいただきました。感謝します。

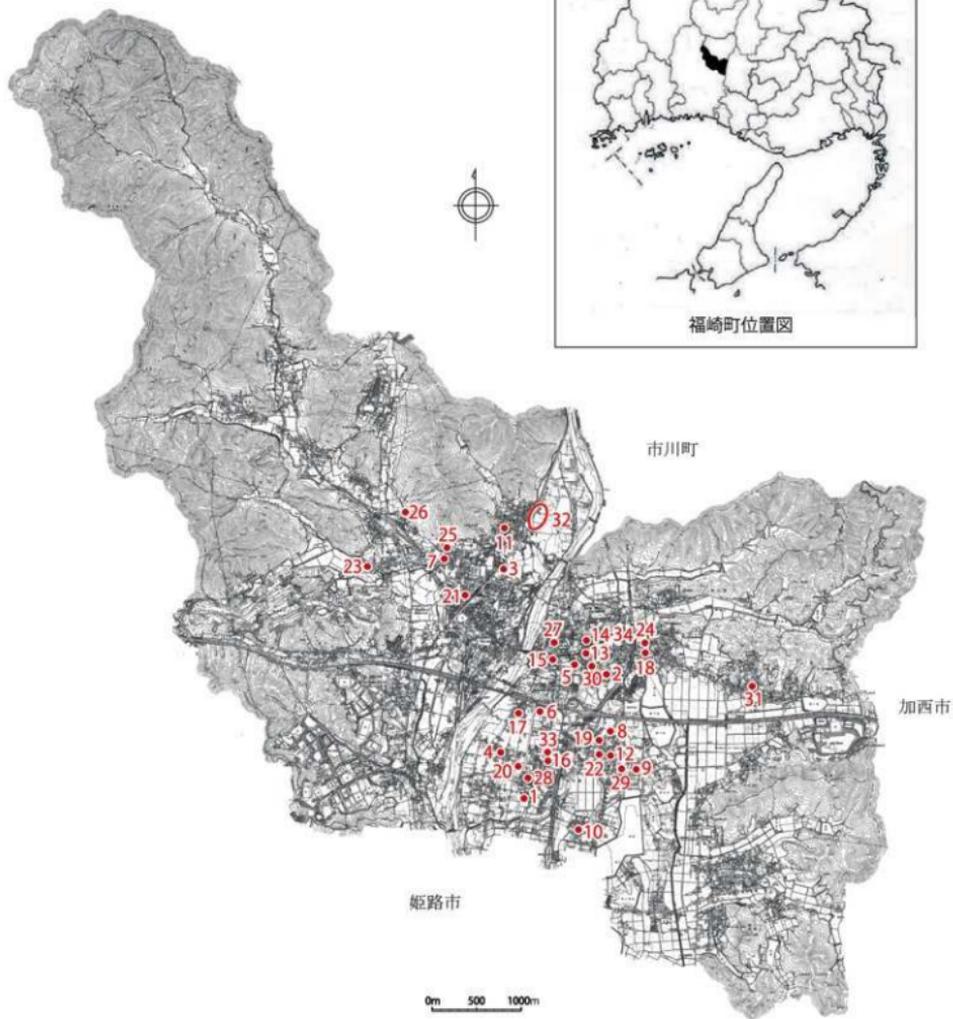
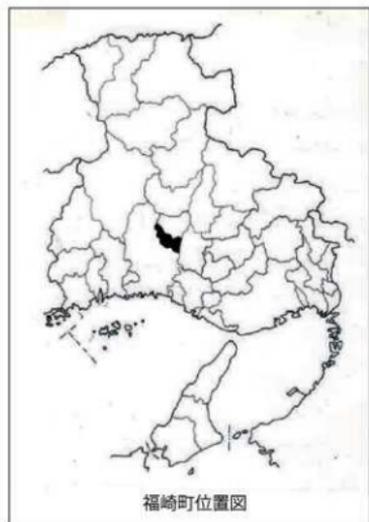
本文目次

あいさつ・例言

はじめに

令和3年度調査報告

1. 南田原字寺居試掘	1
2. 西田原上野田遺跡(第6次)	2
3. 福田字西田黒試掘	3
4. 南田原条里遺跡(第48次)	4
5. 西田原字前畑試掘	5
7. 福田字無量寺試掘	6
8. 南田原字北ノ垣内試掘	8
9. 南田原字平田試掘	10
10. 南田原字高野試掘	11
11. 山崎字西山所試掘	13
12. 南田原字西光寺試掘	14
13. 西田原字宮ノ西試掘	16
14. 西田原字裏畑試掘	18
15. 西田原字堂ノ前試掘(第2次)	21
16. 南田原条里遺跡(第51次)	23
17. 南田原条里遺跡(第52次)	24
18. 東田原字通り堂試掘	25
19. 南田原字西ノ垣内試掘	26
20. 南田原条里遺跡(第53次)	28
21. 福田字前田試掘	30
22. 南田原字西光寺試掘	31
23. 高岡字ヤブノハナ試掘	32
24. 東田原字岡ノ上試掘	33
25. 福田字上垣内試掘	35
26. 高岡字川端試掘	36
27. 西田原字村西試掘	38
28. 南田原条里遺跡(第54次)	40
29. 南田原字山ノ東試掘	41
30. 西田原字宮ノ前試掘	43
31. 大貫字前谷試掘	45
32. 山崎地区ほ場整備事業に伴う試掘	46
33. 南田原条里遺跡立会	67



調査地位置図

令和3年度 埋蔵文化財調査一覧

No.	遺跡名	所在地	種別	調査期間	時代	遺構	遺物	調査面積
1	南田原字寺居試掘	福崎町南田原 字寺居	試掘	2021年 4月5日	—	なし	なし	1か所 4㎡
2	西田原上野田遺跡 (第6次)	福崎町西田原 字上野田	確認	2021年 4月12日	—	なし	なし	1か所 4㎡
3	福田字西田黒試掘	福崎町福田 字西田黒	試掘	2021年 4月19日	—	なし	なし	1か所 4㎡
4	南田原条里遺跡 (第48次)	福崎町南田原 字歳ノ木	確認	2021年 5月10日	—	なし	土師器	1か所 2㎡
5	西田原字前畑試掘	福崎町西田原 字前畑	試掘	2021年 5月19日	—	なし	土師器 須恵器 陶磁器・瓦	1か所 4㎡
6	南田原条里遺跡 (第49次)	福崎町南田原 字ナコザ	確認	2021年 5月24・25日	奈良	ビット 溝 落ち込み	土師器 須恵器 製塩土器	13か所 52㎡
7	福田字無量寺試掘	福崎町福田 字無量寺	試掘	2021年 7月12日	—	なし	瓦 陶磁器	3か所 6㎡
8	南田原字北ノ垣内 試掘	福崎町南田原 字北ノ垣内	試掘	2021年 9月6日	—	なし	土師器	2か所 8㎡
9	南田原字平田試掘	福崎町南田原 字平田	試掘	2021年 9月7日	—	なし	なし	1か所 4㎡
10	南田原字高野試掘	福崎町南田原 字高野	試掘	2021年 9月13日	—	なし	なし	2か所 8㎡
11	山崎字西山所試掘	福崎町山崎 字西山所	試掘	2021年 9月14日	—	なし	なし	1か所 4㎡
12	南田原字西光寺 試掘	福崎町南田原 字西光寺	試掘	2021年 9月28日	—	なし	なし	2か所 8㎡
13	西田原字宮ノ西 試掘	福崎町西田原 字宮ノ西	試掘	2021年 10月13日	中世	ビット	土師器	1か所 6㎡
14	西田原字裏畑試掘	福崎町西田原 字裏畑	試掘	2021年 10月18日	近世	ビット 溝 井戸	土師器 陶器	3か所 12㎡
15	西田原堂ノ前遺跡 (第2次)	福崎町西田原 字堂ノ前	確認	2021年 10月18日	—	なし	須恵器	2か所 8㎡
16	南田原条里遺跡 (第51次)	福崎町南田原 字東田	確認	2021年 11月9日	—	なし	なし	1か所 4㎡
17	南田原条里遺跡 (第52次)	福崎町南田原 字吉田	確認	2021年 11月16日	—	なし	陶磁器	1か所 4㎡
18	東田原字通り堂 試掘	福崎町東田原 字通り堂	試掘	2021年 11月16日	—	なし	土師器	1か所 4㎡
19	南田原字西ノ垣内 試掘	福崎町南田原 字西ノ垣内	試掘	2021年 11月25日	中世	ビット	土師器 須恵器	2か所 8㎡
20	南田原条里遺跡 (第53次)	福崎町南田原 字中島	確認	2021年 11月25日	—	溝	土師器 須恵器	2か所 8㎡

No.	遺跡名	所在地	種別	調査期間	時代	遺構	遺物	調査面積
21	福田字前田試掘	福崎町福田字前田	試掘	2021年 11月26日	—	なし	なし	1か所 2㎡
22	南田原字西光寺試掘	福崎町南田原字西光寺	試掘	2021年 11月26日	近世以降	溝	陶器 瓦	1か所 4㎡
23	高岡字ヤブノハナ試掘	福崎町高岡字ヤブノハナ	試掘	2021年 11月30日	—	なし	なし	2か所 8㎡
24	東田原字岡ノ上試掘	福崎町東田原字岡ノ上	試掘	2022年 1月7日	—	なし	土師器	3か所 12㎡
25	福田字上垣内試掘	福崎町福田字上垣内	試掘	2022年 1月7日	—	なし	土師器	1か所 4㎡
26	高岡字川端試掘	福崎町高岡字川端	試掘	2022年 1月20日	—	なし	須恵器	1か所 4㎡
27	西田原字村西試掘	福崎町西田原字村西	試掘	2022年 1月20日	中世	ピット	土師器	1か所 4㎡
28	南田原条里遺跡(第54次)	福崎町南田原字中島	確認	2022年 1月21日	—	なし	土師器	1か所 4㎡
29	南田原字山ノ東試掘	福崎町南田原字山ノ東	試掘	2022年 2月15日	—	なし	なし	3か所 12㎡
30	西田原字宮ノ前試掘	福崎町西田原字宮ノ前	試掘	2022年 2月22日	中世	溝	須恵器	1か所 4㎡
31	大貫字前谷試掘	福崎町大貫字前谷	試掘	2022年 3月8日	—	なし	なし	1か所 4㎡
32	山崎地区ほ場整備事業に伴う試掘	福崎町山崎	試掘	2021年 11月29日 ～12月23日	古墳～中世	ピット 溝	土師器 須恵器	62か所 248㎡
33	南田原条里遺跡立会調査	福崎町南田原字東田	立会	2022年 1月25日 ～2月22日	—	なし	なし	5か所 —
34	三木家住宅関連遺構	福崎町西田原字裏畑	立会	2022年 2月2～14日	近世	井戸 区画溝	須恵器 陶器	—

No.の数字は目次の番号と一致する。

No.6南田原条里遺跡(第49次)は町報告25を、No.34三木家住宅関連遺構は町報告32を参照されたい。

はじめに

調査の方法

基本的に機械を使用できる場所は0.1 m級の重機を使用して調査を行った。2.0×2.0mのグリッドを基本としたが、遺跡の種類や現状の地形によってトレンチ調査を実施した地点・遺跡もある。

掘り下げは重機を用い、精査等においては人力により対応した。壁面の図化、写真撮影による記録を適宜行ったのち、埋め戻し作業も行っている。

地理的環境

福崎町は中国山地の東端で、兵庫県中央部の市川中流域に位置している。東西10.4 km、南北12 kmの45.82 km²の面積である。町域中央に南北に市川が流れ、東西には山崎安富断層沿いに中国自動車道が通っている。市川中流域に狭くなっている箇所があり、その間を福崎盆地と呼称している。南側は飾磨郡と神崎郡を分ける姫路市砥堀で、北は市川町と福崎町の町境である福崎町山崎である。現在の行政域は福崎町と姫路市に分かれているが旧郡は神崎郡である。町域は市川とその支流である七種川によって形成された段丘面が見られる。山裾には麓屑面と扇状地が広がり、谷部は谷底平野と氾濫原になっている。令和3年度の調査地点では、福田と大貫の一部で扇状地がある以外は、ほとんどの調査地点は段丘面から氾濫原・谷底平野に位置している。

歴史的環境

福崎町内では旧石器時代から近世の遺跡の存在が知られている。旧石器時代のナイフ形石器が南田原桶川遺跡・南田原条里遺跡・西広畑遺跡・大門遺跡から散発的に出土している。縄文時代になると、草創期の有舌尖頭器が南田原の西光寺で採集され、前期の土器は西大貫遺跡・加治谷大垣内遺跡で、後期の土器は西田原穴田遺跡・加治谷藪下五反畑遺跡で出土している。遺構は落とし穴が八千種庄北扶遺跡・八千種庄古屋敷遺跡・八千種庄春日遺跡の春日山西麓でまとまって確認されている。後期と思われる。晩期になると大門岡ノ下遺跡で竪穴住居が検出されており、石棒が出土している。

弥生時代前期の遺構の様相は不明であるが、中期になると遺跡数は増加する。中溝遺跡、南田原長目遺跡、上大明寺遺跡、北野寺西遺跡、西広畑遺跡、南田原条里遺跡、玉屋遺跡、西治下代ノ下モ遺跡などがある。朝谷遺跡、宮山遺跡からは土器棺が出土している。

古墳時代の集落遺跡は、上大明寺遺跡、加治谷藪下五反畑遺跡、西治下代ノ下モ遺跡、林谷遺跡があり、いずれも竪穴住居が検出されている。加治谷藪下五反畑遺跡、林谷遺跡のものはカマドを伴う。古墳は、高橋古墳群が最古で古墳時代中期の築造である。箱式石棺群で3号墳、4号墳の2基の調査がされており、鉄剣が出土したと伝わる。相山古墳は町内で唯一埴輪が出土している。円筒埴輪を中心に、人物埴輪と思われるものも確認されている。後期になると、それまで丘陵上に築かれていた古墳は、山裾や平野部に増加する。妙徳山に所在する妙徳山古墳は、神崎郡でも最大級の石室を有する円墳である。谷川の南岸には東広畑古墳や東新田古墳などが所在し、いずれも鉄刀、馬具、鉄鏃などの鉄製品のほか耳環、勾玉、管玉などの装身具が出土している。

律令制が敷かれると、福崎町域は神前郡となる。南田原条里遺跡からは役所的遺構と考えられる大型の掘立柱建物が確認されている。高岡地区の矢口遺跡からは帯金具が出土しており、郡衙関連遺構が所在していた可能性がある。桜東畑遺跡など高岡地区の遺跡からは製塩土器が多く出土しており、高岡里の中心部であった可能性が高い。福田無量寺跡では、福田地区固牢倉の解体工事に多量の瓦が検出された。字名が無量寺であることから寺院の可能性もある。

中世になると福崎町内には田原荘、高岡荘、蔭山荘が成立する。市川町、加西市、福崎町にまたがって高峰山城、八千種地区に春日山城、姫路市香寺町にまたがって高橋城が築かれる。

1. 南田原字寺居試掘

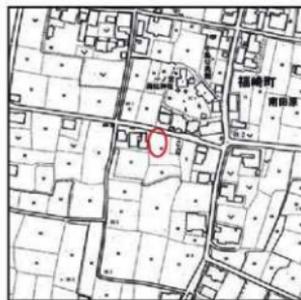
所在地 神崎郡福岡町南田原字寺居 648-1

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 4㎡

調査期間 令和3年4月5日(月)



調査地点の位置

○調査の概要

1G 調査区中央に設定した。調査した範囲では4層から成っているが、洪水堆積層がさらに続いており、地山は確認していない。第1層は耕土、第2層は床土、第3層は褐灰砂礫層、第4層は褐砂礫層である。砂礫層は拳大から人頭大の円礫で構成されており、粗砂～中砂が混じっている。遺構・遺物ともに確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。当該地は河川堆積と思われる。



グリッド配置図



土層図



機械掘削



1G (北から)

2. 西田原上野田遺跡（第6次）

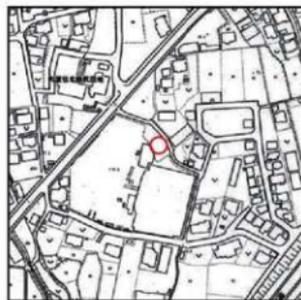
所在地 神崎郡福崎町西田原上野田 1834-2

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 4㎡

調査期間 令和3年4月12日（月）



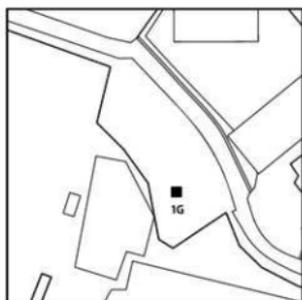
調査地点の位置

○調査の概要

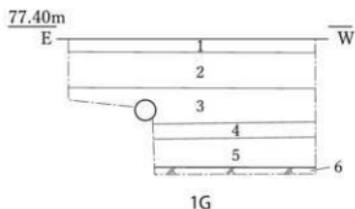
1G 調査区中央に設定した。6層から成っているが、上3層は盛土である。明瞭に3層に分かれたので層とした。第1層は整地層である真砂土、第2層は耕土・第5層を主とする盛土で円礫を多く含む。第3層はコンクリート・レンガなど廃棄物を含む山土層、第4層は旧耕土層、第5層は黒褐シルト質極細砂、第6層は地山である黄褐シルト質極細砂である。遺構・遺物ともに確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。



グリッド配置図



1G

- 1 表土(真砂土)
- 2 盛土 耕土・礫含む
- 3 盛土 山土・コンクリート・レンガ含む
- 4 旧耕土
- 5 黒褐(2.5Y3/1)シルト質極細砂
- 6 黄褐(2.5Y5/6)シルト質極細砂 (地山)



土層図



調査前（南東から）



1G（北から）

3. 福田字西田黒試掘

所在地 神崎郡福岡町福田字西田黒 96-1

事業名 戸建て住宅・店舗新築工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 4㎡

調査期間 令和3年4月19日(月)



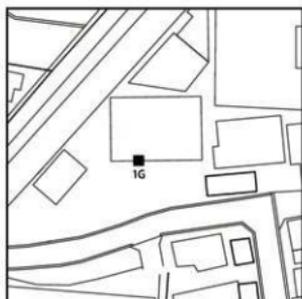
調査地点の位置

○調査の概要

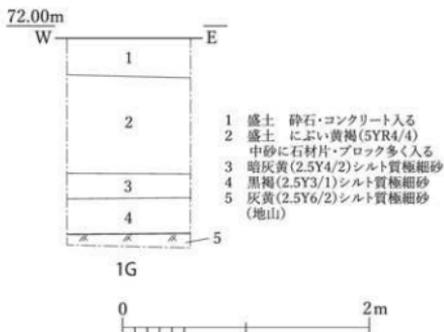
1G 調査区中央に設定した。4層から成っているが、上層の盛土は大きく2層に分かれ、時期が異なる盛土と思われるので5層に分けた。第1層は現代の盛土、第2層は石材店建築時の盛土、第3層は暗灰黄シルト質極細砂、第4層は黒褐シルト質極細砂、第5層は地山である灰黄シルト質極細砂である。第1層は碎石にコンクリート片・円礫が混じっている。第2層にはぶい赤褐の山土で石材を割った破片や石材が多く入っている。遺構・遺物ともに確認されなかった。地山面は清水遺跡より一段低くなっており、清水遺跡端部が段丘面の変化点と思われる。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。



グリッド配置図



土層図



調査前(西から)



1G(南から)

4. 南田原条里遺跡（第48次）

所在地 神奈川県福崎町南田原字歳ノ木 2357 番 1

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 2 m²

調査期間 令和3年5月10日（月）



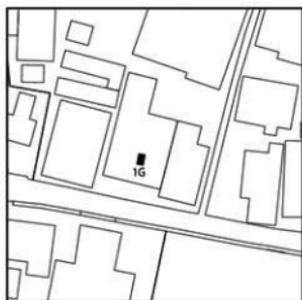
調査地点の位置

○調査の概要

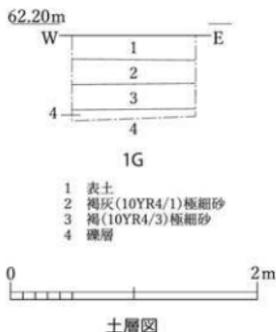
1G 現況では宅地住宅解体後の更地作業中であり、周辺も宅地で早くから集落があった地域と思われる。協力を得て、更地になった部分にグリッドを設定した。第1層は表土、第2層は褐灰極細砂、第3層は褐極細砂、第4層は礫層である。第2層から土師器が1点出土している。遺構は検出されなかった。第4層は拳大から人頭大の礫で構成され洪水堆積物と思われる。礫層は厚く堆積しているように思われる。

○まとめ

今回の調査では、明確な遺構は確認されず、安定した遺構面も確認されなかった。遺物も土師器が1点出土しているだけである。調査の結果、遺構が確認されなかったことと個人住宅建設が最深地表面下45cmの掘削であることから、慎重工事で対応する。



グリッド配置図



土層図



調査前（南から）



1G（南から）

5. 西田原字前畑試掘

所在地 神奈川県福岡町西田原字前畑 1614 番 4、5

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 4㎡

調査期間 令和3年5月19日(水)



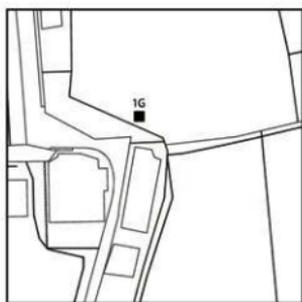
調査地点の位置

○調査の概要

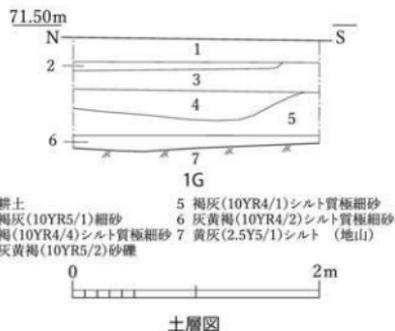
1G 調査区中央に設定した。7層から成っている。第1層は耕土、第2層は褐灰細砂(耕土と思われる)、第3層は褐シルト質極細砂、第4層は灰黄褐砂礫、第5層は褐灰シルト質極細砂、第6層は灰黄褐シルト質極細砂、第7層は地山である黄灰シルトである。第6層上面にマンガン層があり、遺構が存在する可能性もあったが遺構は確認されなかった。第4層は洪水堆積層で東西方向の旧河道や洪水層である。自然のもので、幅1.8m以上で深さ0.3mを測る。これ以外の遺構は確認していない。遺物は洪水層から出土している。土師器・須恵器・陶磁器・瓦で近世である。

○まとめ

今回の調査で、自然に形成された溝だけで明瞭な遺構は確認されていない。遺物も洪水に伴った近世の遺物が溝から出土しているだけである。



グリッド配置図



土層図



調査前(東から)



1G(西から)

7. 福田字無量寺試掘

所在地 神奈川県福岡町福田字無量寺
 事業名 直谷第2雨水幹線整備事業
 調査担当 渡辺 昇
 調査面積 6㎡
 調査期間 令和3年7月12日(月)



調査地点の位置

○調査の概要

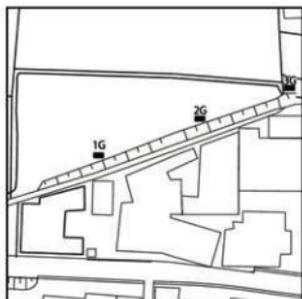
1G 事業地西側に設定した。自然堆積状況が看取された。第1層は耕土、第2層は灰黄褐シルト質極細砂、第3層はにぶい黄褐シルト質極細砂、第4層は灰黄褐シルト質極細砂、第5層はにぶい黄橙砂礫層である。第3層下面で瓦が少量出土している。第5層は地山ではないが、洪水堆積で下層に遺構はないと思われる。

2G 自然堆積ではなく、人工の層になっている。第1層と第5層は同じで間の層が変わっている。極細砂でなく細砂になり礫を多く含んでいる。

3G 自然堆積ではなく、近世以降の瓦・陶磁器が含まれており、近世以降に攪乱を受けたものと思われる。現在の水路石垣設置時かもしれない。

○まとめ

今回の調査で、東半は近世以降の手が加わっていることが明らかとなった。用水路設置時によるものかと思われる。西半は自然堆積層であったが、遺構は確認出来なかった。少量の遺物が入っていることから北側に遺構面が残存している可能性がある。



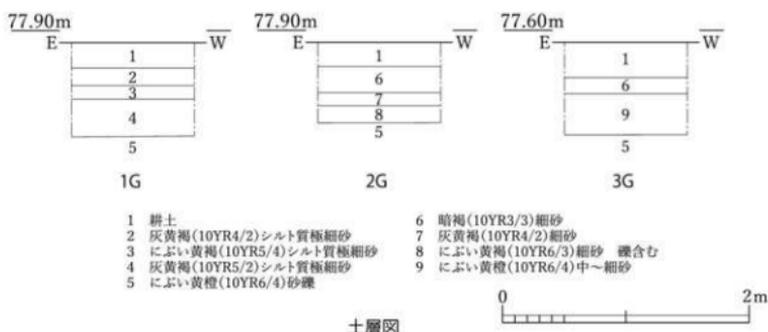
グリッド配置図



出土遺物

番号	種別	器種	遺構	法量 (cm)			調整		備考
				厚み	長さ	幅	外	内	
1	瓦	軒丸瓦	1G	残2.1	残5.5	残6.5			

遺物観察表



調査前 (東から)



1G 機械掘削



1G (北から)



2G (北から)



3G (北から)



3G 埋戻し

8. 南田原字北ノ垣内試掘

所在地 神崎郡福岡町南田原字北ノ垣内 1779 番 4、5

事業名 太陽光発電設備設置工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 8 m²

調査期間 令和3年9月6日(月)



調査地点の位置

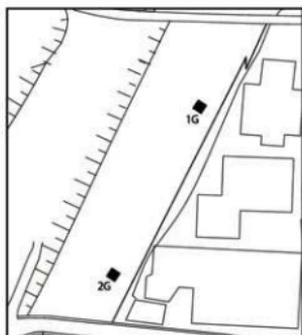
○調査の概要

1G 調査区北側に設定した。5層から成っている。第1層は耕土、第2層は黒シルト質極細砂、第3層はにぶい黄褐シルト質極細砂、第4層はにぶい黄褐シルト質極細砂(3層より色調淡い)、第5層は地山である明黄褐シルト質極細砂。第3層上面で精査したところ、南北に直線状に3層と5層との土層変化があった。溝などの遺構かと思われたので、掘り下げたが自然地形であることが判明した。土師器が1点出土している。

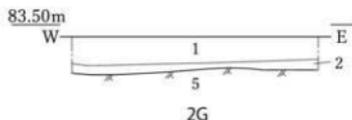
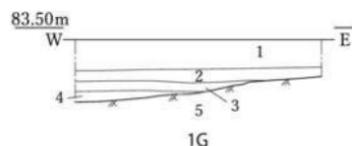
2G 調査区南側に設定した。1Gの第3層・第4層が存在せず、第2層の下が地山であった。遺構・遺物は確認していない。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。当該地は河川堆積と思われる。



グリッド配置図



- 1 耕土
- 2 黒(10YR2/1)シルト質極細砂
- 3 にぶい黄褐(10YR4/3)シルト質極細砂
- 4 にぶい黄褐(10YR5/3)シルト質極細砂
- 5 明黄褐(5YR5/6)シルト質極細砂 (地山)



土層図



調査前 (北から)



1G 機械掘削



1G 3層上面



1G (南から)



2G 機械掘削



2G 人力掘削



2G (南から)



2G 埋戻し

9. 南田原字平田試掘

所在地 神崎郡福崎町南田原字平田 1200-32

事業名 太陽光発電設備設置工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 4㎡

調査期間 令和3年9月7日(火)



調査地点の位置

○調査の概要

1G 調査区中央南側に設定した。4層から成っている。第1層は耕土、第2層はにぶい黄シルト質極細砂(小礫含む)、第3層は暗灰黄シルト質極細砂、第4層は地山である明黄褐シルトである。滞水状態で土層を壁面で確認することは出来なかった。遺物は出土していない。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。間接的に堆積土・地山を確認した。滞水が多く良好な調査は行えなかったので、近隣地の試掘調査の結果によって結論としたい。



グリッド配置図



土層図



調査前(北から)



地山確認状況

10. 南田原字高野試掘

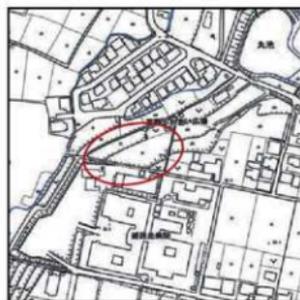
所在地 神崎郡福崎町南田原字高野 1133-7、8

事業名 太陽光発電設備設置工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 8 m²

調査期間 令和3年9月13日(月)



調査地点の位置

○調査の概要

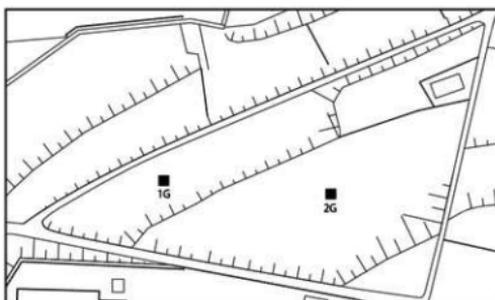
1G 北側耕作地中央西寄りに設定した。4層から成っている。

第1層は耕土、第2層は明黄褐細砂、第3層は暗褐極細砂、第4層は明黄褐中砂(小礫含む)である。第4層は段丘構成層で地山である。遺構・遺物は確認していない。

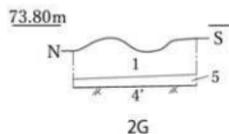
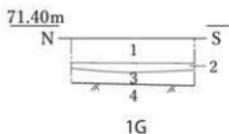
2G 南側耕作地中央に設定した。調査地が畑地であったことから畝部分は耕土が厚くなっている。耕土下にぶい黄褐極細砂が堆積し、その下は地山である。遺構・遺物は確認していない。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。



グリッド配置図



- 1 耕土
- 2 明黄褐(10YR6/6)細砂
- 3 暗褐(10YR3/3)極細砂
- 4 明黄褐(10YR7/6)中砂 小礫含む(地山)
- 4' 4よりやや濃い(地山)
- 5 ぶい黄褐(10YR4/3)極細砂



土層図



1G 調査前 (西から)



1G 機械掘削



1G (西から)



1G 埋戻し



2G 調査前 (西から)



2G 機械掘削



2G (西から)



2G 埋戻し

1 1. 山崎字西山所試掘

所在地 神崎郡福崎町山崎字西山所 751-1

事業名 個人住宅建設工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 4㎡

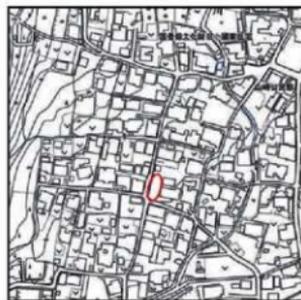
調査期間 令和3年9月14日(火)

○調査の概要

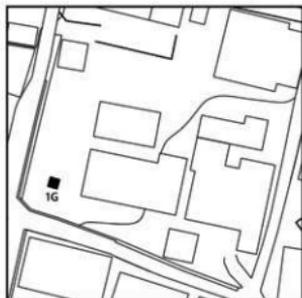
1G 調査区中央南側に設定した。3層から成っているが盛土の下が地山になっており、堆積土は確認されなかった。第1層は砕石、第2層は盛土、第3層が地山であるにぶい黄橙シルト質極細砂である。遺物は出土していない。

○まとめ

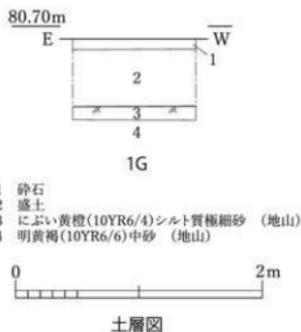
今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。



調査地点の位置



グリッド配置図



調査前 (南から)



1G (北から)

12. 南田原字西光寺試掘

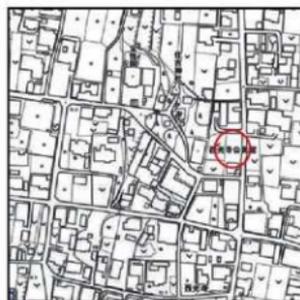
所在地 神崎郡福崎町南田原字西光寺 1375 番

事業名 個人住宅建設工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 8 m²

調査期間 令和3年9月28日(火)



調査地点の位置

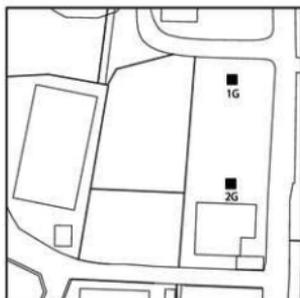
○調査の概要

1G 調査区北側に設定した。4層から成っているが、第4層の地山以外は堆積層ではない。第1層は表土、第2層は盛土(地山土に1層・3層混じる)、第3層は黒褐極細砂(瓦・煉瓦・タイル・ガラス・コンクリート片含む)、第4層は明黄褐シルト質極細砂である。第4層が地山である。第3層が落ち込みで、現代の遺構で旧居宅片付けなどの処理土坑である。地山面は安定しているが、廃棄土坑以外の痕跡は確認されなかった。

2G 調査区南側に設定した。1Gとは全く異なる堆積である。第1層は表土、第2層は盛土(二次堆積の黒シルト質極細砂に第3層・円礫混じる)、第3層は灰黄褐シルト、第4層は褐灰シルト、第5層は第3層より淡い灰黄褐シルト、第6層は暗褐シルトである。第3層より下は池など湿地部分の自然堆積で地山は確認していない。遺構・遺物は認められない。盛土内には木の根があり、最近のものではないように思われる。宅地化した時に池が埋められたのではないかとと思われる。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。



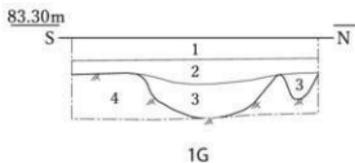
グリッド配置図



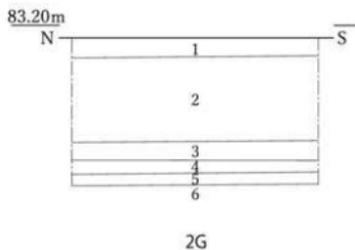
調査前(北西から)



調査前(南東から)



- 1 表土
- 2 盛土 地山土に1層・3層混じる
- 3 黒褐(10YR3/1)極細砂
- 4 明黄褐(10YR7/5)シルト質極細砂 (地山)



- 1 表土
- 2 黒(10YR1.7/1)シルト質極細砂(黒ボク)に部分的に3層・繰入る (盛土)
- 3 灰黄褐(10YR4/2)シルト 池底堆積
- 4 褐灰(10YR4/1)シルト 池底堆積
- 5 灰黄褐(10YR5/2)シルト 池底堆積
- 6 暗褐(10YR3/3)シルト 池底堆積

土層図



1G 機械掘削



2G 機械掘削



1G (東から)



2G (西から)

13. 西田原字宮ノ西試掘

所在地 神崎郡福崎町西田原字宮ノ西 1555-1

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 6 m²

調査期間 令和3年10月13日(水)



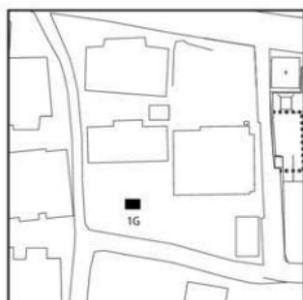
調査地点の位置

○調査の概要

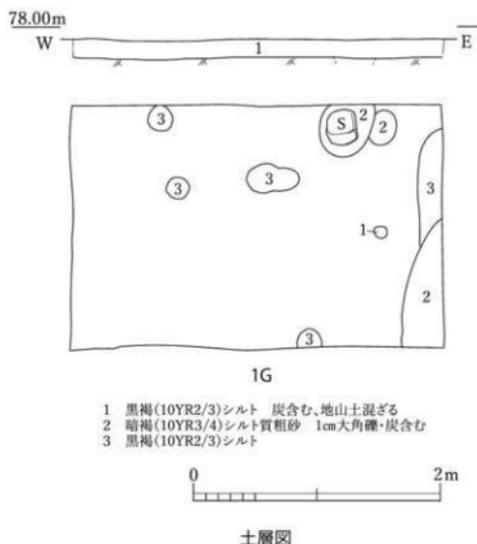
1G 建物建設予定地中央に設定した。第1層は黒褐シルト(地山土混ざる)、第2層は地山である。地山からビットが7基、土坑が2基確認された。碎石の直下が遺構面で、遺構の上には削平されている状況であった。遺物はビットの埋土内から土師器が出土している。小片のため時期は不明である。

○まとめ

今回の調査で、地山直上で遺構が確認された。今後は新たに田尻宮ノ西遺跡として遺跡の範囲変更を県に進達し、工事にあたっては第93条の届出をもって対応する。なお、建築予定である個人住宅の基礎の掘削は、地表面から22~40cmであり、遺構面が地表面から10cm程度下に所在することから、発掘調査による記録保存を行うことで対応する。



グリッド配置図





調査前 (南西から)



1G 機械掘削



作業の様子



1G (西から)



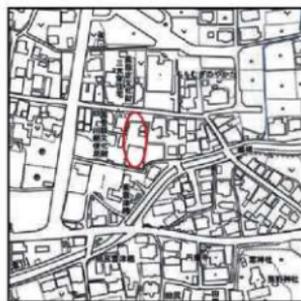
1G 埋戻し



1G 埋戻し後

14. 西田原字裏畑試掘

所在地 神崎郡福崎町西田原字裏畑 1502 ほか
事業名 辻川界限駐車場整備工事
調査担当 樋口 碧
調査面積 12 m²
調査期間 令和3年10月18日(月)



調査地点の位置

○調査の概要

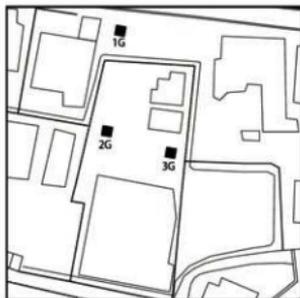
1G 駐車場予定地の北西側に設定した。4層から成っており、第1層は造成土、第2層は褐シルト質中砂、第3層は暗褐シルト質粗砂、第4層は地山である。地山からビット2基と溝が1条検出された。また、第3層から土師器片が出土しているが、小片のため時期は不明である。

2G 駐車場予定地南西側に設定した。4層から成っており、第1層は造成土、第2層は褐シルト質中砂、第3層はにぶい黄褐シルト質粗砂、第4層は地山である。地山からビット1基と円礫が確認された。また、第3層やビットからプラスチック製品や近現代のものと思われるビニル製品、レンガ等が確認されている。

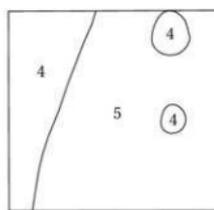
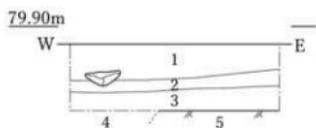
3G 2Gの東側に設定した。地表面を掘削してすぐに基礎と思われる直方体の石が確認された。それを避けて掘削を進めたところ、井戸が検出された。周辺から焼土が検出されたことから、炊事場として使用された箇所と考えられる。

○まとめ

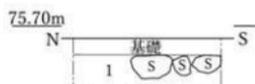
調査予定地は、以前は庄屋を務めた松岡家の邸宅であった。松岡家に関する資料は乏しく、今回の調査で状況が明らかになることが期待された。調査の結果、井戸の存在や風呂の位置等の痕跡が確認できた。写真等、残った記録と松岡家と思われる建物の位置がほとんど一致することから、これら痕跡は松岡家に関する遺構であると考えられる。



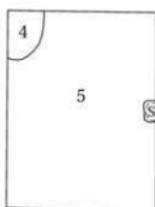
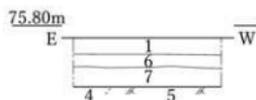
グリッド配置図



1G



3G



2G

- 1 褐(10YR4/6)シルト質粗砂 (造成土)
- 2 褐(10YR4/4)シルト質中砂
- 3 暗褐(10YR3/4)シルト質粗砂 炭含む
- 4 暗褐(10YR3/3)シルト質粗砂 5cm大角礫含む
- 5 黄褐(10YR5/6)シルト質中砂 (地山)
- 6 におい黄褐(10YR4/3)シルト質中砂
- 7 におい黄褐(10YR5/4)シルト質粗砂



土層図



1G 調査前 (南東から)



2G・3G 調査前 (北東から)



1G 機械掘削



1G (南から)



2G (北から)



3G (北から)



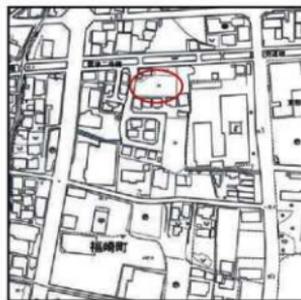
作業の様子



埋戻し後

15. 西田原堂ノ前遺跡（第2次）

所在地 神崎郡福崎町西田原字堂ノ前 1330 番 1 ほか
 事業名 集合住宅新築工事
 調査担当 樋口 碧
 調査面積 8 m²
 調査期間 令和3年10月18日（月）



調査地点の位置

○調査の概要

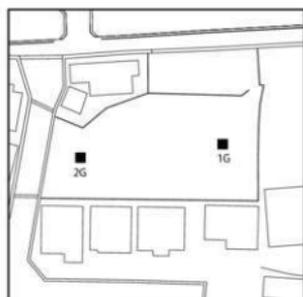
1G 建物建設予定地東側に設定した。第1層は耕土、第2層は床土、第3層は灰黄褐シルト質粗砂、第4層は暗褐シルト質細砂、第5層は暗褐シルト質粗砂、第6層は褐シルト質細砂、第7層はにぶい黄褐シルト質細砂、第8層は灰褐シルト質極細砂、第9層は灰褐シルト質極細砂、第10層は褐砂層である。第3層から第10層で奈良時代から中世の土器片が確認されたが、安定した面及び顕著な遺構は確認されなかった。

2G 駐車場予定地西側に設定した。第1層は耕土、第2層は床土、第3層は灰褐砂礫層、第4層は灰褐砂礫層である。第3層、第4層は河川堆積層であり、水が湧き出てきた。第2層から須恵器片等が確認されたが、ローリングを受けていることから、二次的移動によるものと思われる。

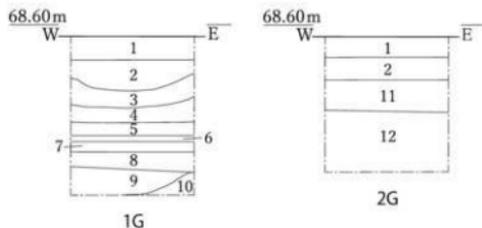
○まとめ

今回の調査でも平成19年度の調査と同様に奈良時代から中世の土器片が確認されたが、1G・2Gともに安定した面は検出できなかった。遺構の中心部は遺跡の南側に存在するものと考えられるが、ローリングを受けていない土器片が多く確認できたことから、遺跡が近接して存在する可能性がある。

このような状況から、遺跡に近接する地点では、工事立会または試掘調査等の対応が必要と考える。



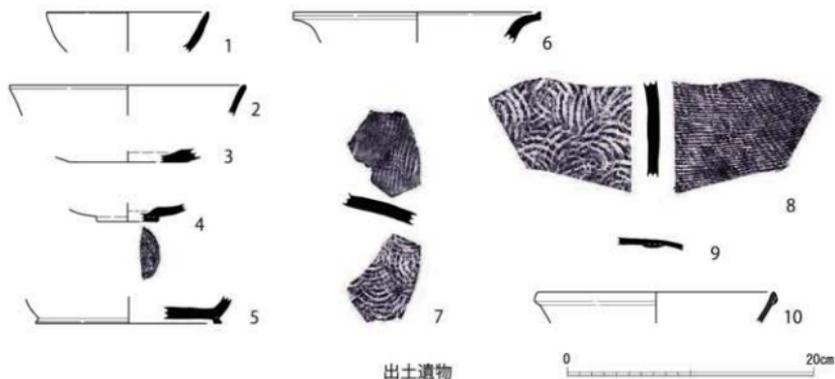
グリッド配置図



- 1 にぶい黄褐 (10YR4/3) シルト質粗砂 (耕土)
- 2 褐 (10YR4/6) シルト質粗砂 灰黄褐 (10YR4/2) 色土
マンガン含む (床土)
- 3 灰黄褐 (10YR5/2) シルト質粗砂
- 4 暗褐 (10YR3/4) シルト質細砂 炭含む
- 5 暗褐 (10YR3/4) シルト質粗砂 3の土含む
- 6 褐 (10YR4/4) シルト質細砂
- 7 にぶい黄褐 (10YR4/3) シルト質細砂 褐 (10YR4/6) 砂層を含む
- 8 灰褐 (10YR4/1) シルト質極細砂 褐 (10YR4/6) 砂層を3割含む
- 9 灰褐 (10YR4/1) シルト質極細砂 褐 (10YR4/6) 砂層を1割含む
- 10 褐 (10YR4/6) 砂層 (河川堆積層)
- 11 灰褐 (10YR4/1) 砂礫層
- 12 灰褐 (10YR4/1) 砂礫層 褐 (10YR4/6) 色土含む



土層図



出土遺物

番号	種別	器種	遺構	法量 (c m)				調整		備考
				口径	器高	腹径	底径	外	内	
1	須恵器	杯	1G	(13.0)	残3.2			ロクロナデ	ロクロナデ	
2	須恵器	杯	2G	(19.0)	残2.5			ロクロナデ	ロクロナデ	
3	須恵器	椀	1G		残1.05	(6.0)		ロクロナデ	ロクロナデ	
4	須恵器	椀	1G		残1.4	(5.0)		ロクロナデ	ロクロナデ	
5	須恵器	杯	1G		残2.1	(15.0)		ロクロナデ	ヘラナデ	
6	須恵器	壺	1G	(20.0)	残2.5			ロクロナデ	ロクロナデ	
7	須恵器	甕	1G		残6.0			平行タタキ	同心円文タタキ	
8	須恵器	甕	1G		残7.8			平行タタキ	同心円文タタキ	
9	須恵器	平瓶	1G		残0.9			ロクロナデ	ロクロナデ	
10	白磁	碗	2G	(18.8)	残2.5					

遺物観察表



調査前 (西から)



1G (南から)



2G (南から)



出土遺物

16. 南田原条里遺跡（第51次）

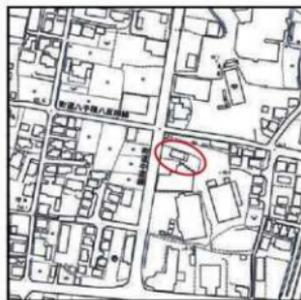
所在地 神崎郡福岡町南田原字東田 2199 番 1

事業名 資材置場新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和3年11月9日（火）



調査地点の位置

○調査の概要

1G 建物建設予定地に設定した。3層から成っている。第1層は砕石、第2層は造成土、第3層は黄灰シルト質極細砂である。第3層まで掘削した際に水が湧き出たため、安全に配慮し掘削を停止した。河川堆積層と考えられる。遺構・遺物ともに確認されなかった。

○まとめ

南田原条里遺跡内では近年の開発に伴い、弥生時代から中世の遺跡が存在することが明らかになっている。遺跡内のほとんどは氾濫原であるが、これまでの調査結果から微高地上に遺跡が確認されており、今回の調査でも遺構が確認される可能性があった。しかし、今回の調査地点では河川堆積層が確認されたことから、遺構が希薄な地点と言える。



グリッド配置図



土層図



機械掘削



1G (南から)

17. 南田原条里遺跡（第52次）

所在地 神奈川県福岡町南田原字吉田 2778 番の一部

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和3年11月16日（火）



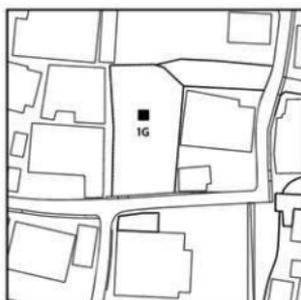
調査地点の位置

○調査の概要

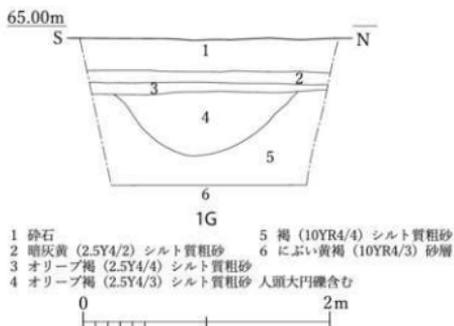
1G 現況は更地で、過去に住宅を解体した跡地である。周辺は宅地で早くから集落があった地域と思われる。協力を得て、更地になった部分にグリッドを設定した。第1層は砕石、第2層は暗灰黄シルト質粗砂、第3層はオリーブ褐シルト質粗砂、第4層は褐シルト質粗砂、第5層にはぶい黄褐砂層である。第4層からの掘り込みから人頭大の円礫、近現代のものと思われる陶器等が出土したため、近現代の掘り込みであると考えられる。第5層は砂層であることから、市川の氾濫による堆積層と考えられる。遺物・遺構ともに確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、明確な遺構は確認されず安定した遺構面も確認されなかったため、慎重工事で対応する。



グリッド配置図



土層図



調査前（北東から）



1G（東から）

18. 東田原字通り堂試掘

所在地 神奈川県福崎町東田原字通り堂 1271 番 1

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和 3 年 11 月 16 日 (火)



調査地点の位置

○調査の概要

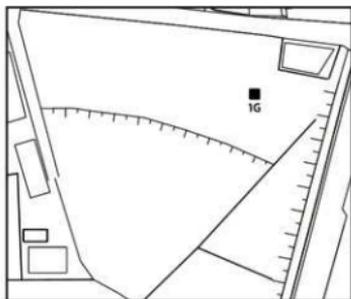
1G 建物建設予定地中央に設定した。第1層は耕土、第2層は床土、第3層は黒褐シルト質中砂、第4層は地山である。

地山上で精査を実施したところ、黒色土からなるビット状の

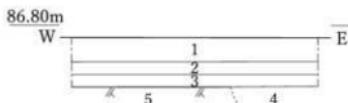
落ち込みを検出したが、湧水のため掘削を断念した。遺物は土師器片が出土したが、ローリングを受け小片となっているため時期は不明である。

○まとめ

今回の調査で、地山直上でビット状の落ち込みが確認されたが、出土した遺物がローリングを受けた小片であることを勘案すると、当該地点で埋蔵文化財が存在した可能性は低いと考えられる。建築予定である個人住宅の基礎の掘削は、盛土が行われるため検出した地山面には達しないが、引き続き埋蔵文化財の状況を確認していくため、工事にあたっては擁壁設置工事の際に立会を行う。



グリッド配置図



1G

- 1 暗オリーブ褐 (2.5Y3/3) シルト質粗砂 (耕土)
- 2 オリーブ褐 (2.5Y4/6) シルト質粗砂 (床土)
- 3 黒褐 (2.5Y3/1) シルト質中砂 (旧耕土か)
- 4 黒 (10YR2/1) シルト質極細砂 (埋土)
- 5 浅黄 (2.5Y7/4) シルト質極細砂 (地山)



土層図



1G (南から)

19. 南田原字西ノ垣内試掘

所在地 神崎郡福崎町南田原字西ノ垣内 1741
 事業名 太陽光発電設備設置工事
 調査担当 樋口 碧
 調査面積 8 m²
 調査期間 令和3年11月25日(木)



調査地点の位置

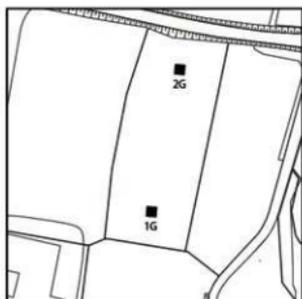
○調査の概要

1G 事業予定地南側に設定した。第1層は耕土、第2層は床土、第3層は褐シルト質粗砂、第4層は褐シルト質細砂、第5層は地山である。第4層から土師器片が出土した。奈良時代のもと思われる。地山からは10 cm程度のピットが検出された。

2G 事業予定地北側に設定した。第1層は耕土、第2層は褐シルト質粗砂、第3層はにぶい黄褐シルト質細砂、第4層は地山である。第2層から須恵器片、土師器片が出土した。時代は奈良時代と中世である。地山から直径40 cm程度のピットが検出された。

○まとめ

今回の調査で、1G・2Gともに地山直上でピットが確認された。土器片も出土しており、当調査地点を新たに遺跡として判断する。遺跡名は小字から西光寺西ノ垣内遺跡とする。出土した土器片から時期を奈良時代・中世とする。今後は遺跡の範囲変更を県に進達し、工事にあたっては第93条の届出をもって対応する。



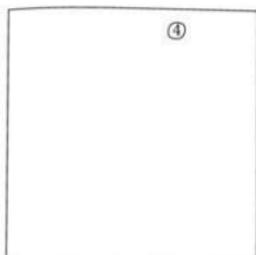
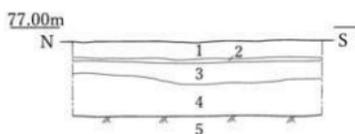
グリッド配置図



出土遺物

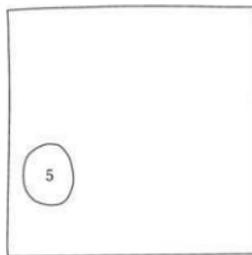
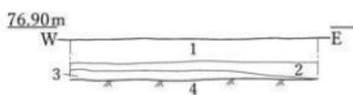
番号	種別	器種	遺構	法量 (cm)				調整		備考
				口径	器高	腹径	底径	外	内	
1	土師器	甕	1G		残4.4			ユビオサエ	ハケメ	

遺物観察表



1G

- 1 暗オリーブ褐シルト質粗砂(2.5Y3/3) (耕土)
- 2 黄褐シルト質粗砂(10YR5/6) (床土)
- 3 にぶい黄褐シルト質粗砂(10YR4/3) マンガン含む
- 4 褐シルト質細砂(10YR4/6) (遺物包含層)
- 5 明黄褐シルト質粗砂(10YR6/8) (地山)



2G

- 1 暗オリーブ褐シルト質粗砂(2.5Y3/3) (耕土)
- 2 褐シルト質粗砂(10YR4/4) (遺物包含層)
- 3 にぶい黄褐シルト質細砂(10YR5/4)
- 4 明黄褐シルト質粗砂(10YR6/8) (地山)
- 5 褐シルト質粗砂(10YR4/4)



土層図



調査前 (南から)



機械掘削



1G (西から)



2G (南から)

20. 南田原条里遺跡（第53次）

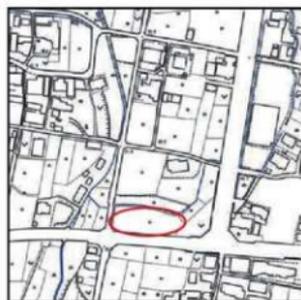
所在地 神奈川県福岡町南田原 2274-1 ほか

事業名 宅地造成工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 8 m²

調査期間 令和3年11月25日（木）



調査地点の位置

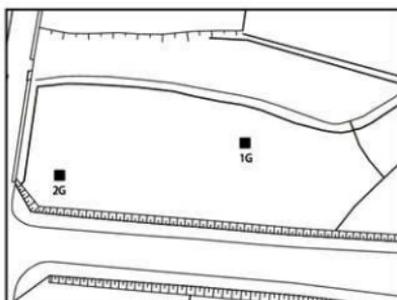
○調査の概要

1G 開発地の東側に設定した。第1層は耕土、第2層はオリブ褐シルト質中砂、第3層は黄褐シルト質中砂、第4層はオリブ褐シルト質中砂、第5層は暗灰黄砂層、第6層は黒褐シルト質細砂、第7層は暗灰黄砂層である。第7層に掘削が到達した時点で湧水があった。第2層から第5層は砂を多く含む層で、第6層は粘質土、第7層は砂層であったため、耕土下は基本河川堆積層と考えられる。第5層上面が比較的安定した面であったため精査を行ったが、顕著な遺構は検出されなかった。遺物は第2層から第5層で須恵器片や土師器片が出土している。時期は中世と思われる。

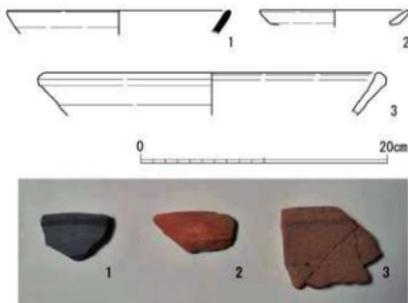
2G 開発地の西側に設定した。第1層は耕土、第2層は暗灰黄シルト質粗砂、第3層は黄褐シルト質細砂、第4層はオリブ褐シルト質粗砂、第5層は黒褐シルト質細砂、第6層は暗灰黄砂層である。第3層上面で溝状の遺構が確認されたため、掘削を停止し記録を行った。第4層中に土師器片が看取されたため、掘り下げを進めたところ、1Gの第6、7層と同じ層が確認されたため、掘削を停止した。遺物は須恵器片、土師器片が出土している。時期は中世と思われる。第4層から検出された溝状遺構には20 cm大の円礫が多く含まれていたが、時期の分かる遺物は出土していない。

○まとめ

今回の調査で、2Gから溝状遺構が検出された。時期は不明であるものの、第4層中から土師器片が確認されていることから、近世以降の遺構である可能性があるため擁壁工事の際に工事立会で対応する。



グリッド配置図

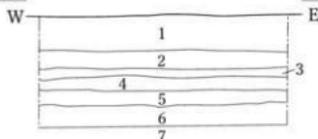


出土遺物

番号	種別	器種	遺構	法量 (cm)				調整		備考
				口径	器高	腹径	底径	外	内	
1	須恵器	碗	1G	(18.0)	残1.9			ロクロナデ	ロクロナデ	
2	土師器	皿	1G	(12.0)	残1.2					
3	土師器	壺	1G	(27.0)	残3.5					

遺物観察表

60.80m



1G

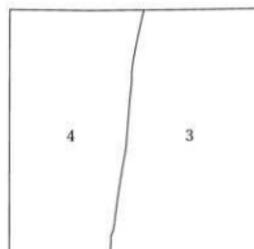
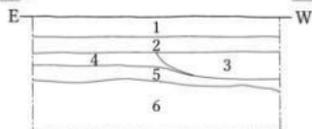
1G

- 1 暗オリーブ褐 (2.5Y3/3) シルト質粗砂 (耕土)
- 2 オリーブ褐 (2.5Y4/4) シルト質中砂
- 3 黄褐 (2.5Y5/4) シルト質中砂
- 4 オリーブ褐 (2.5Y4/3) シルト質中砂
- 5 暗灰黄 (2.5Y4/2) 砂層
- 6 黒褐 (10YR3/2) シルト質細砂
- 7 暗灰黄 (2.5Y5/2) 砂層

2G

- 1 暗オリーブ褐 (2.5Y3/3) シルト質粗砂 (耕土)
- 2 暗灰黄 (2.5Y4/2) シルト質粗砂
- 3 黄褐 (2.5Y5/4) シルト質細砂
- 4 オリーブ褐 (2.5Y4/3) シルト質粗砂
- 5 黒褐 (10YR3/2) シルト質細砂
- 6 暗灰黄 (2.5Y5/2) 砂層

60.40m



2G



土層図



調査前 (南西から)



1G (南から)



2G 第3層上面



2G (北から)

21. 福田字前田試掘

所在地 神崎郡福崎町福田 268-8
事業名 個人住宅新築工事
調査担当 樋口 碧
調査面積 2㎡
調査期間 令和3年11月26日(金)



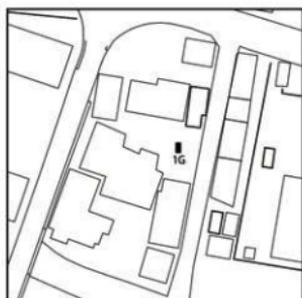
調査地点の位置

○調査の概要

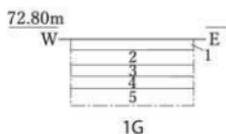
1G 建物建築予定地中央に設定した。第1層は砕石、第2層は造成土、第3層は旧耕土、第4層は旧床土、第5層は暗褐色砂層である。遺構・遺物ともに確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。低位段丘面に位置していることから、安定した面が検出されると予想されたが、円礫を多く含む砂層が確認されたことから、流路があった地点であると考えられる。



グリッド配置図



1G

- 1 砕石
- 2 造成土
- 3 灰黄褐 (10YR4/2) シルト質粗砂 (旧耕土)
- 4 褐 (10YR4/4) シルト質粗砂 (旧床土)
- 5 暗褐 (10YR3/3) 砂層



土層図



調査前(東から)



1G(南から)

22. 南田原西光寺試掘

所在地 神崎郡福崎町南田原西光寺 1397 番 5

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和3年11月26日(金)



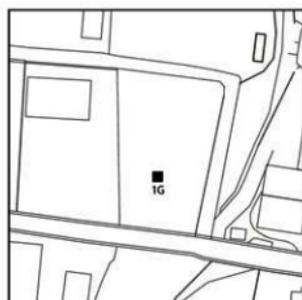
調査地点の位置

○調査の概要

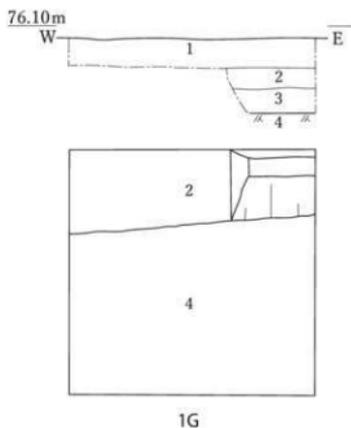
1G 建物建築予定地中央に設定した。第1層は耕土、第2層は地山である。地山から溝が1条検出され、一部断ち割りを行ったところ陶器片及び瓦片が出土した。いぶし瓦であったため、近世以降のものと考えられる。

○まとめ

今回の調査で、地山直上で溝が確認された。しかし、出土遺物から近世以降の遺構と考えられるため、新たに遺跡としては判断しないこととする。ただし、耕土直下が地山であったため、工事立会を行うことで今後新たな遺構が検出されないか確認する必要がある。



グリッド配置図



- 1 オリーブ褐 (2.5Y3/3) シルト質粗砂 (耕土)
- 2 褐 (10YR4/4) シルト質細砂
- 3 オリーブ褐 (2.5Y4/4) 砂層
- 4 淡黄 (2.5Y8/3) シルト質粗砂 (地山)
明赤褐 (5YR5/8) 色土含む



土層図



1G (南から)

23. 高岡字ヤブノハナ試掘

所在地 神奈川県福岡町高岡字ヤブノハナ
 事業名 高岡・福田地区ほ場整備事業
 調査担当 渡辺 昇
 調査面積 8㎡
 調査期間 令和3年11月30日(火)



調査地点の位置

○調査の概要

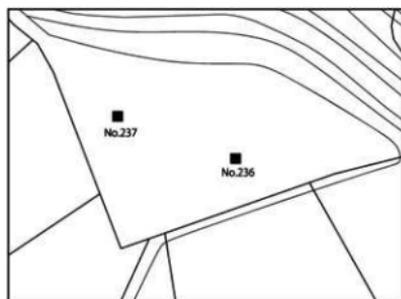
No.236 東側に設定したグリッドで、5層から成っている。

第1層は表土(旧耕土主体)、第2層は黄褐シルト質極細砂(旧床土、小礫含む)、第3層は灰黄褐極細砂(上面にマンガン堆積)、第4層はにぶい黄褐極細砂、第5層は第4層と同じ色調のにぶい黄褐の細砂(礫含む)である。明瞭な地山は確認されず、洪水堆積物が下に続いていると思われる。遺構・遺物は確認されなかった。

No.237 西側に設定したグリッドである。基本土層はNo.236とほぼ同じであるが、第2層が確認されなかった。第4層が厚くなっているが、堆積状況は同じと思われる。遺構・遺物は確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。竹藪によって深く根が入っているが、地形的に水田化された時点で遺構面は削平されたのではないと思われる。



グリッド配置図



No.236 (南から)



No.237 (南から)

24. 東田原字岡ノ上試掘

所在地 神崎郡福崎町東田原字岡ノ上 1301 番

事業名 公民館新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 12 m²

調査期間 令和4年1月7日（金）



調査地点の位置

○調査の概要

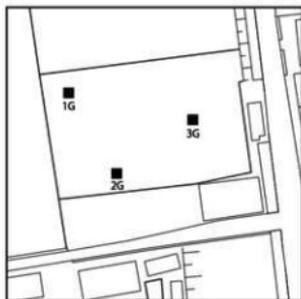
1G 建物建築予定地北西側に設定した。第1層は耕土、第2層は地山である。地山面で直径10 cm程度のビット状遺構が複数確認されたが、近世以降の杭跡と考えられる。遺物は確認されなかった。

2G 建物建築予定地南側に設定した。第1層は耕土、第2層は暗オリーブ褐シルト質粗砂、第3層は地山である。第2層から土師器片が確認されたが、小片であり時期は不明である。地山面は凹凸があり、第2層の土がまだらにたまっている状態である。顕著な遺構は確認されなかった。

3G 駐車場予定地東側に設定した。第1層は耕土、第2層は暗オリーブ褐シルト質粗砂、第3層は地山である。地山面で黒色土で土坑状の遺構が確認された。掘削したところ、植物の根が多く混じっており、形状も歪であることから植物の根による攪乱と考えられる。遺物は確認されなかった。

○まとめ

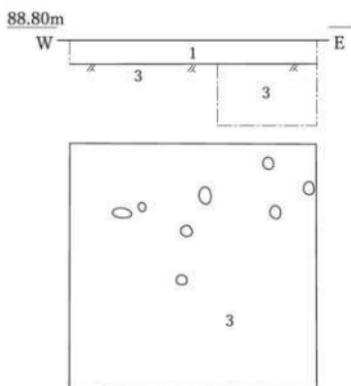
今回の調査で、3Gの地山直上で土坑状の落ち込みが確認されたが、形状が歪であることと植物の根が多く混じっていたことから倒木痕等と考えられ、遺構とは判断していない。また、埋土が黒色土であり、地山直上の土層と異なることから、畑地として整地された際に地山面が削平されたことが推測できる。2Gの第2層から土師器片が出土しているが、小片でローリングを受けていることから二次的移動によるものと考えられる。



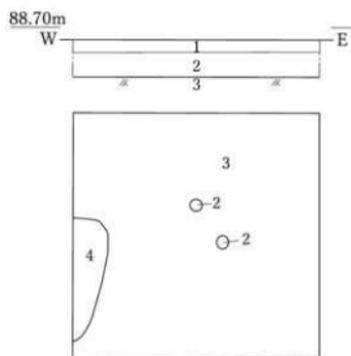
グリッド配置図



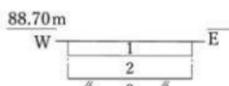
調査前（北東から）



1G



3G



2G

- 1 暗オリーブ褐シルト質粗砂（粘土）
- 2 1の土に黄褐（10YR5/6）粒含む（遺物含む）
- 3 地山
- 4 黒（2.5Y2/1）シルト質極細砂



土層図



1G 断ち割り（南から）



2G（南から）



3G（南から）



3G 土坑検出状況

25. 福田字上垣内試掘

所在地 神崎郡福岡町福田字上垣内 1075 番 1

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和 4 年 1 月 7 日 (金)



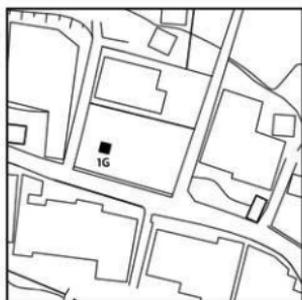
調査地点の位置

○調査の概要

1G 建物建築予定地に設定した。第1層は表土、第2層は暗褐シルト質粗砂、第3層は黒褐シルト質粗砂、第4層は褐シルト質粗砂、第5層は褐シルト質粗砂である。第2層、第3層から土師器片が確認された。第4層は炭片を含んでおり、自然堆積によるものとは考えられなかったため、さらに掘削を進めた。第5層は砂礫を多く含む土層で、北側の山から流れ込んだ土砂堆積層と考えられる。湧水があったため第5層検出時点で安全のため掘削を停止した。

○まとめ

今回の調査で、顕著な遺構は確認されなかった。調査地点がすでに宅地造成されていることから土師器片や炭片が確認された第2～4層は客土の可能性もあるが、北側の山から流れ込んだ土であった場合、当該地点北に遺跡が所在する可能性がある。今後も周辺の開発等に注意し、調査を継続していく必要がある。



グリッド配置図



土層図



調査前 (北西から)



1G (北から)

26. 高岡字川端試掘

所在地 神奈川県福崎町高岡字川端 1574-1、1574-3

事業名 露天資材置場新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和4年1月20日(木)



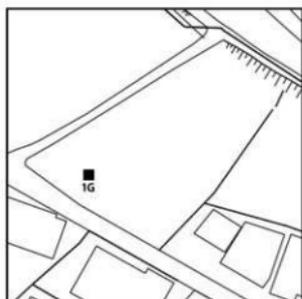
調査地点の位置

○調査の概要

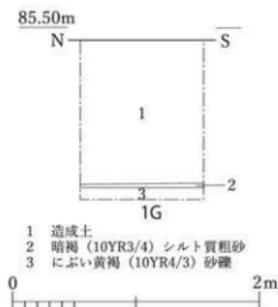
1G 事業地南側に設定した。第1層は造成土、第2層は暗褐色シルト質粗砂、第3層はにぶい黄褐色礫層である。第2層上面から須恵器片が採集された。第3層は土砂堆積層と考えられ、5cm台の礫を多く含んでいた。顕著な遺構は確認されておらず、採集された須恵器も流れ込みによるものと考えられる。

○まとめ

今回の調査で、遺構は確認されなかったが、古墳時代の須恵器片が確認された。北側からの流れ込みである可能性があり、塩田山東古墳、塩田山東2号墳の古墳が知られているほかにも古墳が所在していた可能性を示唆するものである。



グリッド配置図



土層図



出土遺物



番号	種別	器種	遺構	法量 (cm)				調整		備考
				口径	器高	腹径	底径	外	内	
1	須恵器	壺	1G	(31.0)		残8.1			列線文、波状文	

遺物観察表



調査前（北から）



機械掘削



作業の様子



1G（西から）



埋戻し



埋戻し後

27. 西田原字村西試掘

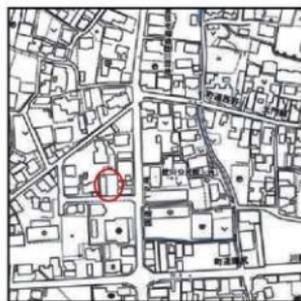
所在地 神崎郡福崎町西田原字村西 1200 番 7

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和 4 年 1 月 20 日 (木)



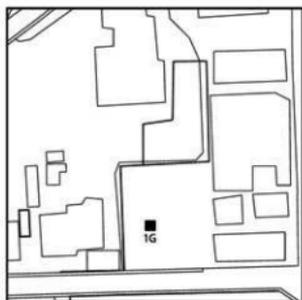
調査地点の位置

○調査の概要

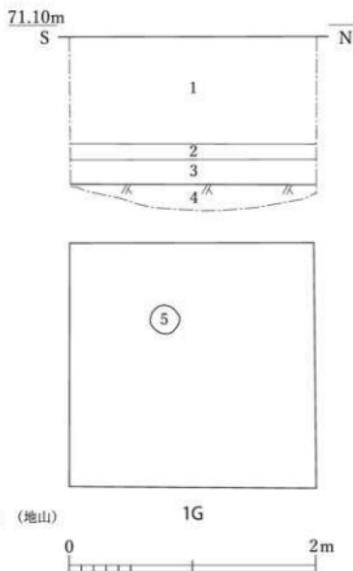
1G 開発地中央に設定した。第 1 層は造成土、第 2 層は暗褐色シルト質粗砂、第 3 層は暗灰黄シルト質粗砂、第 4 層は地山である。第 2 層は粘性があり、第 3 層は 5 cm 大の円礫を多く含んでいたため、河川堆積によるものと考えられる。須恵器片が確認されたが、二次的移動によるものと考えられる。地山から直径 20 cm 程度のビットが確認された。

○まとめ

今回の調査で、ビットが 1 基確認された。土師器片を含んでおり、中世のものと考えられる。ビットを検出した地山上には河川による堆積層が確認されており、市川の氾濫によるものと考えられる。地形区分上は氾濫原とされているものの、安定した地山面が確認されたことから、ある程度の期間集落等が営まれていた面であった可能性もある。今回は性格が不明なビットが 1 基確認されたのみであり、周知の埋蔵文化財包蔵地として報告するためには、さらなる調査が必要と考える。今後も周辺の開発等に注意し、調査を進めていくこととする。



グリッド配置図



土層図

- 1 造成土
- 2 暗褐色 (10YR3/3) シルト質粗砂
- 3 暗灰黄 (2.5Y4/2) シルト質粗砂
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y4/6) シルト質粗砂 (地山)
- 5 暗褐色 (10YR3/3) シルト質粗砂



調査前 (南から)



機械掘削



作業の様子



1G (東から)



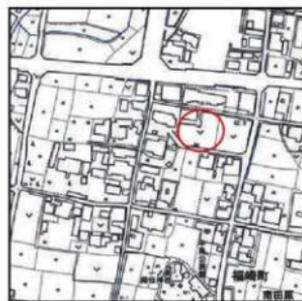
ピット検出状況



埋戻し状況

28. 南田原条里遺跡（第 54 次）

所在地 神崎郡福崎町南田原 719 番 8
事業名 個人用農業倉庫新築工事
調査担当 樋口 碧
調査面積 4 m²
調査期間 令和 4 年 1 月 21 日（金）



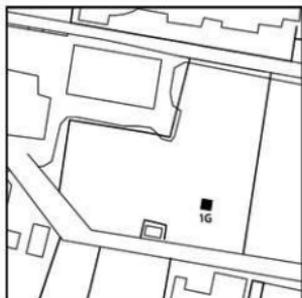
調査地点の位置

○調査の概要

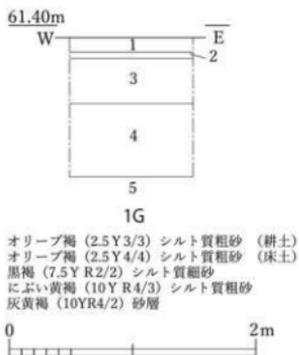
1G 事業地の南側に設定した。第 1 層は耕土、第 2 層は床土、第 3 層は黒褐シルト質細砂、第 4 層はにぶい黄褐シルト質粗砂、第 5 層は灰黄褐砂層である。床土から土師器片が確認されたが、二次的移動によるものと考えられる。顕著な遺構は確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、遺構は確認されなかった。第 3 層以下は河川堆積層と考えられる。調査地点は弥生時代の溝等が確認された第 20 次調査地点から南西に 70m 程離れた箇所であり、遺跡の確認が期待されたが、遺構や遺物、安定した面等が確認されなかったことから、遺構から外れた箇所であると言える。



グリッド配置図



土層図



調査前 (南から)



1G (南から)

29. 南田原山ノ東試掘

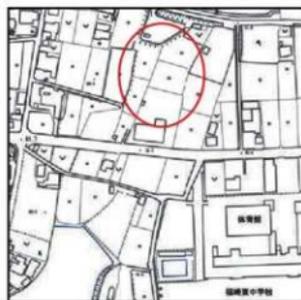
所在地 神崎郡福崎町南田原山ノ東 1188、1189、1196

事業名 太陽光発電設備設置工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 12 m²

調査期間 令和4年2月15日(火)



調査地点の位置

○調査の概要

1G 北東側耕作地中央に設定した。7層から成っている。第

1層は耕土、第2層は灰黄褐シルト、第3層はふい黄褐シルト質極細砂、第4層は黒シルト、第5層は褐灰シルト、第6層は灰黄褐中砂、第7層は地山であるオリブ灰シルトである。遺構・遺物は確認されなかった。

2G 北西側耕作地中央に設定した。第1層は耕土、第2層は黒シルト(灰黄褐シルトのブロック含む)、第3層は地山である明黄褐シルトである。色調が異なるだけで、1Gと同じ地山である。1Gが深いことから還元状態にあったものと思われる。遺構・遺物は確認されなかった。

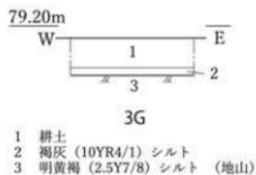
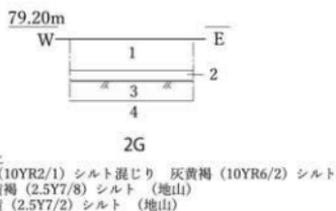
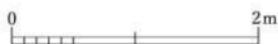
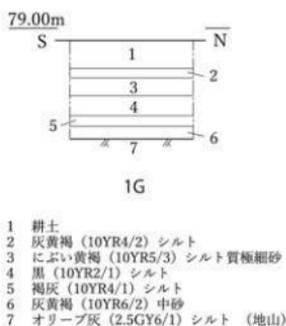
3G 南側耕作地中央西寄りに設定した。調査地が畑地であったことから畝部分は耕土が厚くなっている。耕土下に褐灰シルトが堆積し、その下は地山である明黄褐シルトである。色調が異なるだけで、1G・2Gと同じ地山である。遺構・遺物は確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。



グリッド配置図



土層図



1G 調査前 (西から)



1G (東から)



2G・3G 調査前 (北から)



2G・3G 調査前 (南から)



2G (南から)



3G (南から)

30. 西田原字宮ノ前試掘

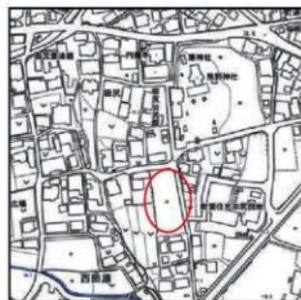
所在地 神奈川県福崎町西田原字宮ノ前 1782 番 1 の一部

事業名 宅地造成工事

調査担当 樋口 碧

調査面積 4 m²

調査期間 令和 4 年 2 月 22 日 (火)



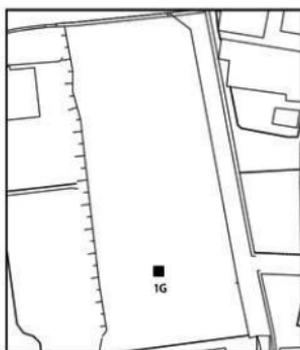
調査地点の位置

○調査の概要

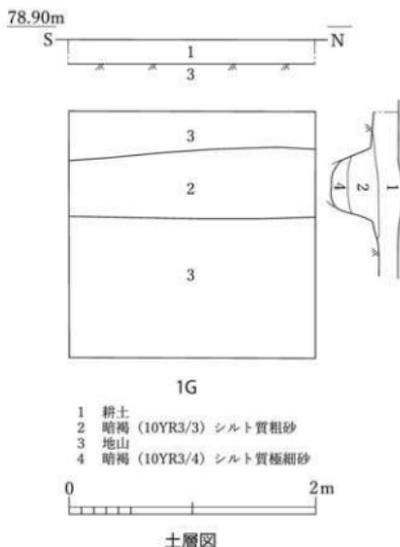
1G 事業地中央に設定した。第 1 層は耕土、第 2 層は地山である。地山から溝が 1 条確認された。埋土からは土師器片や須恵器片が出土している。小片であるため詳細な時期は不明であるが、須恵器皿が出土しており、中世のものと思われる。

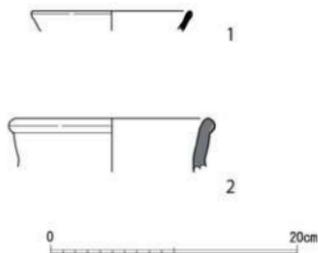
○まとめ

今回の調査で、地山直上で遺構が確認された。調査地点は畑地であり、地表面から須恵器、陶器、陶磁器が採集されており、全面的に遺構が存在すると考えられた。表採された土器の時期は、中世から近現代のものである。今回確認された遺構は当地点の北西方向に位置する田尻宮ノ西遺跡と同時代のものであり、同じ段丘面全体に遺跡が広がっている可能性がある。今後は、新たに田尻宮ノ前遺跡として遺跡の範囲変更を県に進達し、工事にあたっては第 93 条の届出をもって対応する。



グリッド配置図





出土遺物

番号	種別	器種	遺構	法量 (cm)				調整		備考
				口径	器高	腹径	底径	外	内	
1	須恵器	皿	1G溝埋土	(12.8)	残1.6			ロクロナデ	ロクロナデ	
2	備前焼	甕	表探	(15.4)	残4.4			ロクロナデ	ロクロナデ	

遺物観察表



調査前 (北から)



機械掘削



1G (東から)



埋戻し後

31. 大貫字前谷試掘

所在地 神崎郡福崎町大貫字前谷 2558、2559

事業名 個人住宅新築工事

調査担当 渡辺 昇

調査面積 4㎡

調査期間 令和4年3月8日(火)



調査地点の位置

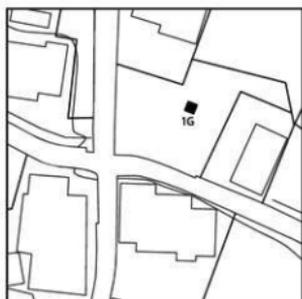
○調査の概要

1G 建物建築予定地中央に設定した。6層から成っている。

第1層は耕土、第2層は床土である黄褐シルト、第3層は灰黄褐シルト質極細砂、第4層は黒褐シルト質極細砂、第5層は暗褐シルト質極細砂、第6層は褐灰砂礫（礫は人頭大～拳大の円礫）である。砂礫層は30cm以上あり、日光寺山などの丹波層群の岩石が氾濫によって流された円礫である。その上の層は谷部や池などの滞留した堆積を示している。地山は検出していないが谷地形であったと判断される。遺構・遺物は確認されなかった。

○まとめ

今回の調査で、遺構・遺物は確認されなかった。



グリッド配置図



土層図



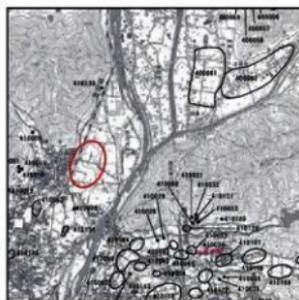
調査前 (西から)



1G (南から)

32. 山崎地区ほ場整備に伴う試掘調査

所在地 神崎郡福崎町山崎
事業名 山崎地区ほ場整備事業
調査担当 樋口 碧
調査面積 248 m²
調査期間 令和3年11月29日(月)～12月23日(木)
(実働12日間)



調査地の位置
(兵庫県道跡地図2020.3、「北条」)

○調査の概要

山崎地区ほ場整備に伴う試掘調査は3カ年で実施予定で、令和3年度は2年目である。1年目は事業予定地南半分、2年目は北半分の南側、3年目は北半分の北側を調査する。

字名と地形を考慮し、地区を分けて調査概要を報告する。

148G～152G、162G～164G(山崎字四ノ田)

今年度調査対象地南東部分である。今年度調査対象地の中では最も標高が低く、市川の氾濫による影響を大きく受けた箇所と考えられる。基本層序は、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が褐砂層である。149Gは6層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が黄褐シルト質中砂、第5層が黄褐砂層、第6層が褐砂層となっている。旧耕土の下に粗砂を多く含む層があり、その下に河川堆積層(砂層あるいは砂礫層)が存在している。遺物は確認されなかった。151Gは6層から成り、第1層は耕土、第2層はオリーブ褐シルト質粗砂、第3層は暗オリーブ褐シルト質粗砂、第4層は暗灰黄シルト質粗砂、第5層は黄褐砂層、第6層は黄褐シルト質細砂である。第2層には直径20cm程度の円礫が敷き詰められており、耕作のための水抜きに用いられたものと考えられる。第6層からは直径15cm程度のピット、直径5cm程度の杭跡と思われるものが確認された。ピット等が確認されたことから第6層は一時は機能していた面と考えられる。遺物は確認されなかった。

153G～161G(山崎字四ノ田)

今年度調査対象地南西部である。山崎地区の集落や甘地福崎線が西側に通っており、西側に向かって標高が上がっていく。154Gは6層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が暗褐シルト質粗砂、第4層が黄褐シルト質粗砂、第5層が黄褐シルト質細砂、第6層が暗褐砂層である。第5層、第6層は河川堆積層である。いずれのグリッドも基本的にはこの層序であるが、157Gは9層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が灰黄褐シルト質粗砂、第4層が暗灰黄シルト質粗砂、第5層が黄褐シルト質粗砂、第6層が褐シルト質粗砂、第7層が暗褐シルト質粗砂、第8層が褐シルト質粗砂、第9層が黄褐砂層である。第9層が河川堆積によるものと思われ、それ以上の層には耕作土が何層かに渡って機能していたようである。第5層と第7層から土器が出土している。161Gは5層から成り、第1層が耕土、第2層がオリーブ褐シルト質粗砂、第3層が暗灰黄シルト質粗砂、第4層が褐砂層、第5層が暗灰黄砂層である。第5層は安定した面であり、70cm程度のピットと40cm程度のピットが確認された。第5層中から土器片が出土しており、流れ込みによるものと考えられる。砂層であることから、河川の氾濫による堆積層と考えられる。この地区の中では161Gが最も標高があるため、河川の氾濫の影響を受けにくかったのかもしれない。

166G、167G、178G、181～184G(山崎字下ノ坂)

今年度調査対象地中央を東西に通る町道山崎市川線の南側に該当する。基本層序は、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が河川堆積層である。事業地の一部は分布調査にて土器片が

採集されなかったことなどがあり、試掘調査の対象としていない地区がある。181Gは7層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が黄褐シルト質中砂、第5層がにぶい黄褐シルト質細砂、第6層が褐シルト質粗砂、第7層が黄褐シルト質粗砂である。第5層が遺物包含層である。第6層から溝状遺構が検出された。グリッドの端から検出されたため、幅は不明である。埋土は砂層であった。遺構の中から須恵器の甕が出土している。この地区からも地山は検出されなかったが比較的安定した面がみられ、180G、183Gからは杭跡が、182Gからは鋤溝と杭跡が確認された。近現代のものと思われる。

165G、168G～177G、179G、180G（山崎字才垣）

今年度調査対象地の南東から北西に向かって畦畔が蛇行して形成されており、南から北に向かって標高が上がる。基本層序は第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が黄褐シルト質粗砂、第5層が河川堆積層である。171Gは調査地の東端であり、約40cmの造成土とその下から落ち込みが確認された。東に向かって大きく地形が落ち込んでいるものと考えられる。173Gでは、第5層上から溝状遺構が確認されている。埋土は砂層であり、河川の氾濫による流路の可能性がある。顕著な遺構は見つかっておらず、遺物は旧耕土や河川堆積層から土師器片、須恵器片が出土している。二次的移動によるものと考えられる。177Gは5層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が黄褐シルト質粗砂、第5層が黄褐シルト質細砂である。第4層から直径40cm程のピットが検出された。遺物は土師器が出土しているが、小片のため時期は不明である。179Gは第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が暗灰黄シルト質中砂、第5層がオリーブ褐シルト質中砂、第6層が黄褐シルト質中砂、第7層がにぶい黄褐砂層である。第5層から直径10cm程の杭跡と60cm程の土坑が検出された。遺物は須恵器が出土しているが、小片のため時期は不明である。

191G～194G（山崎字堂田野）

今年度調査対象地の北東側で、字コモイケより標高は下がる。地形から河川の氾濫の影響を受けている地区と考えられた。191Gは6層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層がオリーブ褐シルト質粗砂、第5層が褐砂層、第6層が暗褐砂層である。旧耕土から土師器鍋が出土している。192Gも同様の堆積状況である。194Gは3層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が暗オリーブ褐砂礫層である。遺物は出土しておらず、193Gも同様の堆積状況である。

185G～190G、195G～211G（山崎字コモイケ）

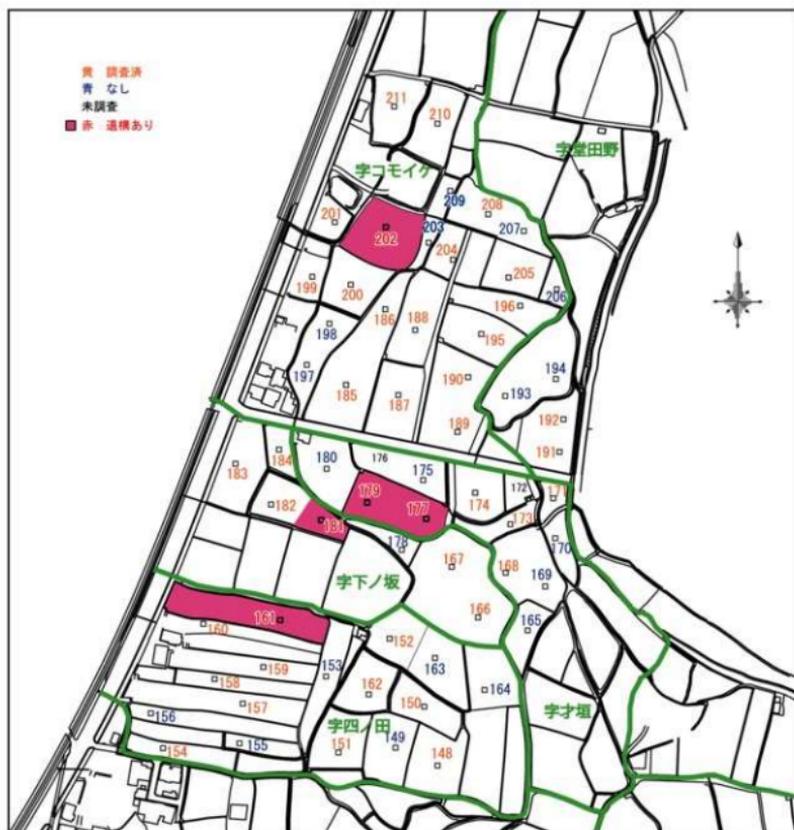
今年度の調査対象地区の北西側で、北に向かってゆるやかに標高が上がっている。河川堆積層である砂層の上に褐～オリーブ褐シルト質粗砂の層があり、安定した面で一部で鋤溝や土器片が検出されている。188Gは7層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層がオリーブ褐シルト質中砂、第5層がにぶい黄褐砂層、第6層がにぶい黄褐砂層、第7層がにぶい黄褐シルト質細砂である。第4層上面から鋤溝が検出されている。196Gは5層から成り、第1層が耕土、第2層が床土、第3層が旧耕土、第4層が黄褐シルト質粗砂、第5層が暗褐シルト質粗砂である。第4層上面から鋤溝が検出されている。199Gも第4層までが196Gと同様の堆積状況であり、第4層上面から鋤溝が検出されている。第5層は黄褐砂層である。202Gからは直径20cm程度のピットが検出されている。他に直径10cm程度のものもあるが、杭跡と思われる。第1層が耕土、第2層が床土、第3層が黄褐シルト質粗砂、第4層が黄褐シルト質粗砂である。ピットは第4層上面から検出されており、第3層上面には溝状の遺構が確認されている。遺物は確認していないので時期は不明であるが、おそらく近現代のものと思われる。また、第4層からは土師器、須恵器が出土している。

〇まとめ

試掘調査の結果、5つのグリッドから遺構が確認された。地山はいずれのグリッドからも確認されていないが、今年度調査対象地の北側の河川の堆積物上には安定した面があり、鋤溝等が確認されている。その他溝状遺構やピットが確認されているが、遺物を伴わないため時期は不明である。唯一、181

Gから検出された溝からは須恵器甕が確認されている。遺物は旧耕地や河川堆積による砂層から出土しており、時期は古墳時代後期から中世と幅がある。

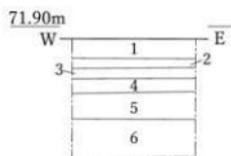
今回の調査では遺構面の広がりほとんど確認できなかった。検出した箇所や杭跡も近現代のもの可能性が高い。出土した遺物はローリングを受けているものが多く、流れ込みによるものがほとんどであると考えられるが、砂層上面から出土しているものの中にはほとんどローリングを受けていないものも含まれている。遺構は調査地点よりも標高のある北側か現在山崎地区の集落がある西側に存在している可能性がある。



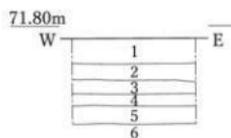
グリッド配置図 (S=1:3000)

山崎試掘調査一覧

No	調査日	小字名	遺構	面深さ(cm)	遺物	備考
148	12.06	四ノ田			土師器	
149	12.06	四ノ田				
150	12.06	四ノ田			土師器・須恵器	
151	12.03	四ノ田			土師器	
152	12.03	四ノ田			須恵器	
153	12.03	四ノ田				
154	11.29	四ノ田			土師器	
155	11.29	四ノ田				
156	11.29	四ノ田				
157	11.29	四ノ田			土師器・須恵器	
158	11.29	四ノ田			土師器・須恵器	
159	12.03	四ノ田			土師器・須恵器	
160	12.03	四ノ田			土師器・須恵器	
161	12.03	四ノ田	ピット	40	土師器・須恵器	
162	12.06	四ノ田			土師器・須恵器	
163	12.06	四ノ田				
164	12.06	四ノ田				
165	12.13	才垣				
166	12.07	下ノ坂			陶器(近世)	
167	12.07	下ノ坂			須恵器	
168	12.13	才垣			須恵器	
169	12.13	才垣				
170	12.14	才垣				
171	12.14	才垣			土師器・須恵器	
172	未	才垣				畑
173	12.13	才垣			土師器	
174	12.13	才垣			土師器・須恵器	
175	12.13	才垣				
176	未	才垣				畑
177	12.07	才垣	ピット	30	土師器	
178	12.07	下ノ坂			須恵器・青磁	
179	12.07	才垣	ピット	45	土師器・須恵器	
180	12.08	才垣				
181	12.08	下ノ坂	溝	45	土師器・須恵器	
182	12.08	下ノ坂			土師器・須恵器	
183	12.08	下ノ坂			土師器・須恵器	
184	12.08	下ノ坂			土師器・須恵器	
185	12.22	コモイケ			土師器	
186	12.22	コモイケ			須恵器	
187	12.16	コモイケ			土師器・須恵器	
188	12.20	コモイケ			土師器・須恵器	
189	12.16	コモイケ			須恵器	
190	12.16	コモイケ			土師器・須恵器	
191	12.14	堂田野			土師器・須恵器	
192	12.14	堂田野			須恵器	
193	12.14	堂田野				
194	12.14	堂田野				
195	12.16	コモイケ			土師器・須恵器	
196	12.16	コモイケ			土師器・須恵器	
197	12.22	コモイケ				
198	12.22	コモイケ				
199	12.23	コモイケ			土師器	
200	12.22	コモイケ			土師器	
201	12.23	コモイケ			土師器・須恵器	
202	12.21	コモイケ	ピット	40	土師器・須恵器	
203	12.21	コモイケ				
204	12.20	コモイケ			須恵器	
205	12.20	コモイケ			須恵器	
206	12.20	コモイケ				
207	12.20	コモイケ				
208	12.20	コモイケ			須恵器	
209	12.21	コモイケ				
210	12.21	コモイケ			土師器・須恵器	
211	12.21	コモイケ			土師器・須恵器	



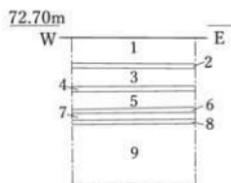
149G



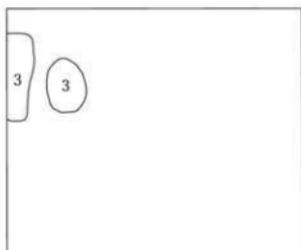
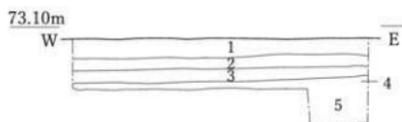
151G



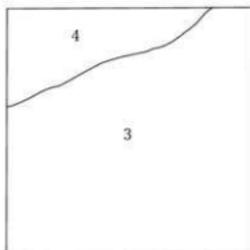
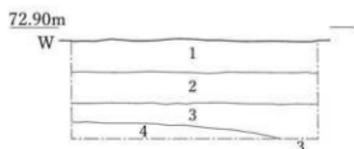
154G



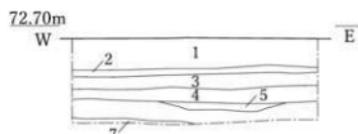
157G



161G



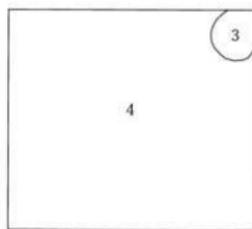
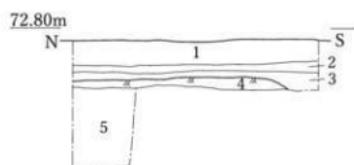
171G



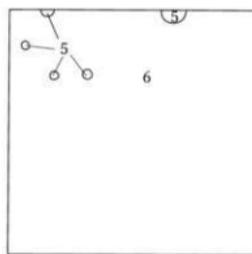
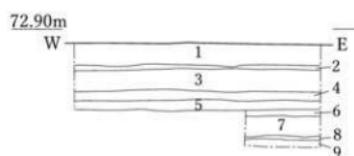
173G



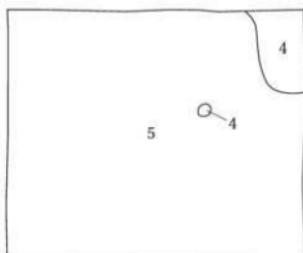
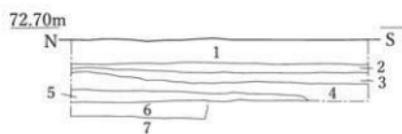
土層図 (1)



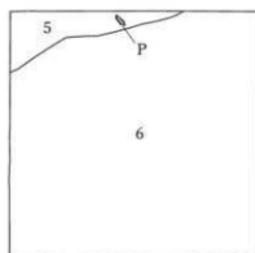
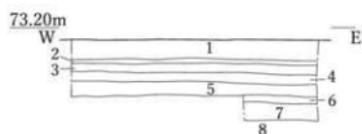
177G



180G



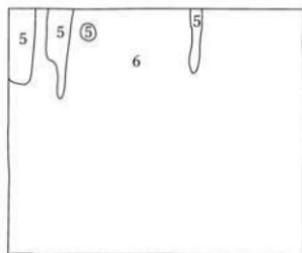
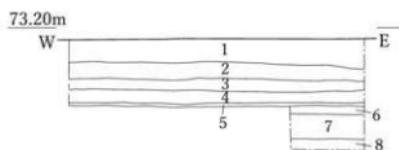
179G



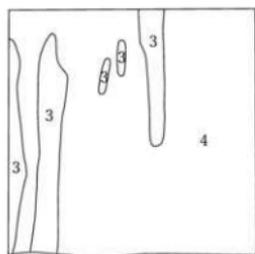
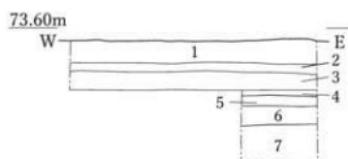
181G



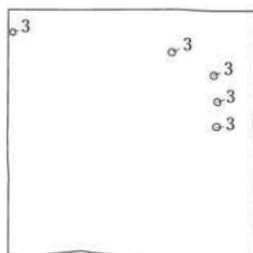
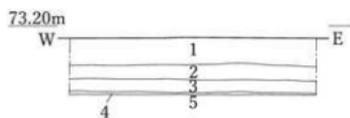
土層圖 (2)



182G



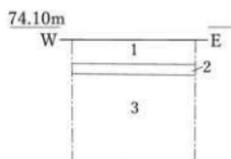
188G



183G



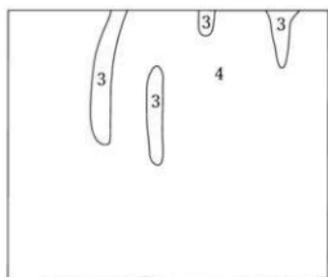
191G



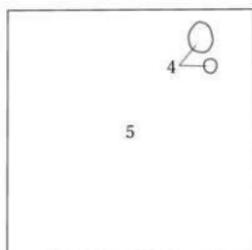
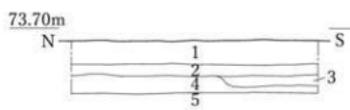
194G



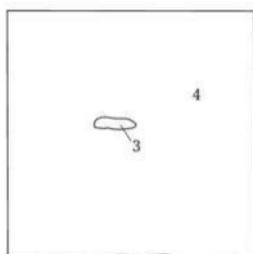
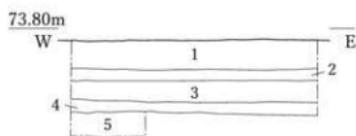
土層圖 (3)



196G



202G

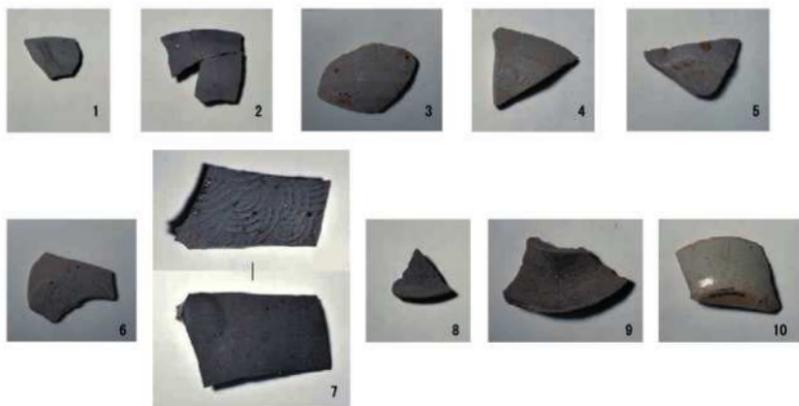


199G



土層圖 (4)

- 149G
1 耕土
2 にぶい黄褐(10YR4/3)シルト質粗砂 明黄褐(10YR6/8)色土含む(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 (旧耕土ホ)
4 黄褐(2.5Y5/6)シルト質中砂 細砂多く含む
5 にぶい黄褐(10Y5/3)砂層 マンガンたまる
6 褐(10YR4/4)砂層
- 151G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/6)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む
3 暗オリーブ褐(2.5Y3/3)シルト質粗砂 20cm大円礫多く含む
4 暗灰黄(2.5Y4/2)シルト質粗砂 粗砂多く含む
5 黄褐(2.5Y5/3)砂層
6 にぶい黄褐(10YR4/6)シルト質粗砂多く含む
7 褐(10YR4/6)細砂
- 154G
1 灰黄褐(10YR4/2)シルト質粗砂 (耕土)
2 にぶい黄褐(10YR4/3)シルト質粗砂 明黄褐(10YR6/8)色土含む(床土)
3 暗褐(10YR3/3)シルト質粗砂 明黄褐(10YR6/8)色土含む
4 にぶい黄褐(10YR5/3)シルト質粗砂 細砂多く含む
5 黄褐(10YR5/8)シルト質粗砂 マンガンたまる (河川堆積)
6 暗褐(10YR3/3)砂層 (河川堆積)
- 157G
1 灰黄褐(10YR4/2)シルト質粗砂 (耕土)
2 にぶい黄褐(10YR4/3)シルト質粗砂 明黄褐(10YR6/8)色土含む(床土)
3 灰黄褐(10Y5/2)シルト質粗砂
4 暗灰黄(2.5Y5/2)シルト質粗砂
5 にぶい黄褐(10YR4/3)シルト質粗砂
6 褐(10YR4/6)シルト質粗砂
7 暗褐(10YR3/3)シルト質粗砂
8 褐(10YR4/6)シルト質粗砂
9 にぶい黄褐(10YR4/3)砂層 (河川堆積)
- 161G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土多く含む
3 暗灰黄(2.5Y4/2)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む
4 褐(10YR4/4)砂層 マンガンたまる
5 暗灰黄(2.5Y5/2)砂層 50cm大円礫含む
- 171G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 細礫多く含む 明黄褐(10YR6/8)粒含む
3 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂 5cm大円礫含む
4 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂
- 173G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 床土 黄褐(10YR5/8)色土含む
3 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む
4 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂
5 黄褐(2.5Y5/4)砂層
6 にぶい黄褐(10YR5/3)砂層
7 黄褐(2.5Y5/6)砂層
- 177G
1 耕土
2 褐(10YR4/6)シルト質粗砂(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 明黄褐(10YR6/8)色土含む(旧耕土)
4 黄褐(2.5Y5/3~5/6混ざる)シルト質粗砂
5 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂 細砂多く含む
- 179G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 明黄褐(10YR5/8)色土多く含む(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 明黄褐(10YR5/8)色土多く含む(旧耕土)
4 暗灰黄(2.5Y4/2)シルト質中砂 明黄褐(10YR5/8)色土多く含む
5 オリーブ褐(2.5Y4/6)シルト質中砂 6の土含む 細砂多く含む
6 黄褐(2.5Y5/6)シルト質中砂
7 にぶい黄褐(10YR4/3)砂層
- 180G
1 耕土
2 暗褐(10YR3/4)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)粒含む
4 黄褐(2.5Y5/6)シルト質中砂
5 黄褐(2.5Y5/3)シルト質中砂 マンガン含む
6 オリーブ褐(2.5Y4/6)シルト質粗砂
7 オリーブ褐(2.5Y4/3)砂層
8 褐(10YR4/6)砂層
9 にぶい黄褐(10YR4/3)砂層
- 181G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/6)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む
4 黄褐(2.5Y5/6)シルト質中砂
5 にぶい黄褐(10YR5/3)シルト質粗砂
6 褐(10YR4/4)シルト質粗砂 細砂多く含む
7 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂 50cm大円礫多く含む
- 182G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/6)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(旧耕土)
4 灰黄褐(10YR4/2)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む
5 にぶい黄褐(10YR5/3)シルト質粗砂
6 褐(10YR4/4)シルト質粗砂 細砂多く含む
7 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂
8 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂 マンガンたまる
- 183G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/6)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む
4 にぶい黄褐(10YR5/3)シルト質粗砂
5 褐(10YR4/4)シルト質粗砂 細砂多く含む
- 188G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(床土)
3 にぶい黄褐(10YR5/3)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(旧耕土)
4 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質中砂 明黄褐(2.5Y6/8)色土含む
5 にぶい黄褐(10YR5/3)砂層 マンガン混じる
6 にぶい黄褐(10YR5/3)砂層
7 にぶい黄褐(10YR4/3)シルト質粗砂
- 191G
1 耕土
2 黄褐(2.5Y5/4)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(床土)
3 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む(旧耕土)
4 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 黄褐(10YR5/8)色土含む
5 オリーブ褐(2.5Y4/6)シルト質粗砂
6 褐(10YR4/6)砂層 マンガンたまる
7 暗褐(10YR3/4)砂層 円礫含む
- 194G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 細礫多く含む(床土)
3 明黄褐(10YR6/8)色土含む
4 暗オリーブ褐(2.5Y3/3)砂層 30cm大円礫多く含む
- 196G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/3)シルト質粗砂 明黄褐(10YR6/8)粒含む(床土)
3 暗灰黄(2.5Y4/2)シルト質粗砂 5cm大円礫含む
4 黄褐(10YR5/6)シルト質粗砂
5 暗褐(10YR3/4)シルト質粗砂 マンガンたまる
- 199G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 明黄褐(2.5Y6/8)色土含む
3 暗灰黄(2.5Y4/2)シルト質中砂 明黄褐(2.5Y6/8)色土含む
4 黄褐(2.5Y5/4)シルト質中砂
5 黄褐(2.5Y5/3)砂層
- 202G
1 耕土
2 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 明黄褐(2.5Y6/8)色土含む
3 オリーブ褐(2.5Y4/4)シルト質粗砂 明黄褐(2.5Y6/8)色土含む
4 黄褐(2.5Y5/3)シルト質粗砂
5 黄褐(2.5Y5/4)シルト質粗砂



出土遺物

番号	種別	器種	遺構	法量 (cm)				調整		備考
				口径	器高	腹径	底径	外	内	
1	須恵器	杯	183G	(14.0)	残2.15			ロクロナデ	ロクロナデ	
2	須恵器	椀	202G	(14.8)	残3.55			ロクロナデ	ヘラナデ	
3	須恵器	椀	182G	(14.6)	残3.2			ロクロナデ	ロクロナデ	
4	須恵器	鉢	202G		残1.5		(8.0)	ロクロナデ	ロクロナデ	
5	須恵器	椀	159G		残1.2		(5.0)	ロクロナデ	ロクロナデ	
6	須恵器	椀	182G		残1.2		(5.2)	ロクロナデ	ロクロナデ	
7	須恵器	甕	161G		残8.8			格子タタキ	同心円文タタキ	
8	須恵器	器台	178G		残2.3		(10.0)	ロクロナデ	ロクロナデ	
9	須恵器	器台	205G		残2.4		(10.6)	ロクロナデ	ロクロナデ	
10	白磁	碗	211G	(9.0)	残3.0		(5.0)	平行タタキ	同心円文タタキ	

遺物観察表



調査前 (南西から)



調査前 (南東から)



調査前 (北から)



重機掘削



148G (南から)



149G (南から)



150G (東から)



151G (南から)



152G (西から)



153G (西から)



154G (南から)



155G (南から)



156G (南から)



157G (南から)



158G (南から)



159G (南から)



160G (南から)



161G (南から)



161G 遺構検出状況



162G (東から)



163G (東から)



164G (南から)



作業の様子



調査前 (北西から)



調査前 (北西から)



165G (南から)



166G (南から)



167G (南から)



168G (南から)



169G (南から)



170G (西から)



171G (南から)



171G 落ち込み検出状況



173G (南から)



174G (東から)



175G (東から)



177G (西から)



177G ピット検出状況



178G (南から)



179G (西から)



180G (南から)



181G (南から)



182G (南から)



183G (南から)



184G (南から)



埋戻し



調査前 (南西から)



調査前 (南東から)



185G (西から)



186G (南から)



187G (南から)



188G (南から)



189G (北から)



190G (南から)



191G (南から)



192G (南から)



193G (南から)



194G (南から)



195G (西から)



196G (西から)



197G (南から)



198G (南から)



調査前 (南から)



調査前 (北西から)



199G (南から)



199G 鋤溝状況



200G (南から)



201G (南から)



202G (西から)



203G (西から)



調査前 (北西から)



204G (南から)



205G (南から)



206G (南から)



207G (西から)



208G (西から)



作業の様子



埋戻し



調査前 (北東から)



調査前 (南東から)



209G (南から)



210G (南から)



211G (南から)



埋戻し



埋戻し後 (北東から)



埋戻し後 (南から)



埋戻し後 (南西から)



埋戻し後 (北から)

33. 南田原条里遺跡立会

所在地 神崎郡福崎町南田原字東田
事業名 町道八千種八反田線雨水整備工事
調査担当 樋口 碧
調査面積 ー㎡
調査期間 令和4年1月25日(火)～2月22日(火)



調査地点の位置

○調査の概要

令和2年度、3年度に渡っての工事であった。令和2年度の調査は令和2年11月12日(木)～11月26日(木)の5日間で実施した。数mおきに工事立会を行い、土層の記録を行った。既存の道路下の土層であるため、基本層序は道路敷設による造成土があり、その下は基本的に河川堆積層である砂礫層であった。

・令和2年度

1～3 第1層が造成土、第2層が暗褐シルト質粗砂、第3層が褐砂層、第4層が灰黄褐砂礫層である。いずれからも遺物は確認されなかった。

・令和3年度

4・5 第1層が暗褐シルト質粗砂、第2層が褐砂礫層である。遺物は確認されなかった。

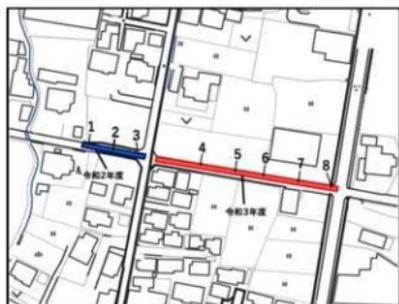
6 第1層が褐砂礫層である。遺物は確認されなかった。

7・8 第1層が造成土、第2層が暗褐シルト質粗砂である。遺物は確認されなかった。

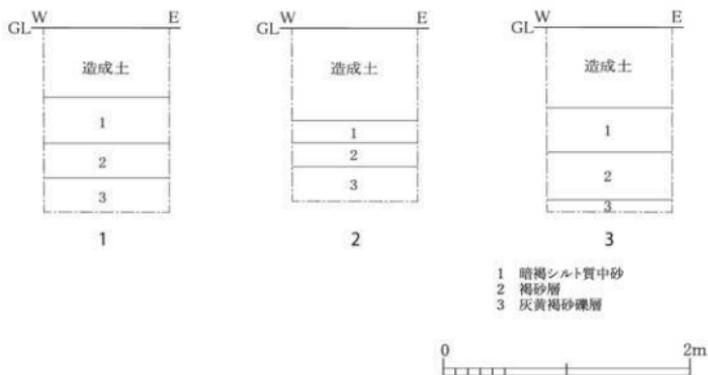
○まとめ

南田原条里遺跡内では近年の開発に伴い、弥生時代から中世の遺跡が所在することが明らかになりつつある。遺跡内は氾濫原であり、土層の堆積状況からも河川堆積層が確認されている。

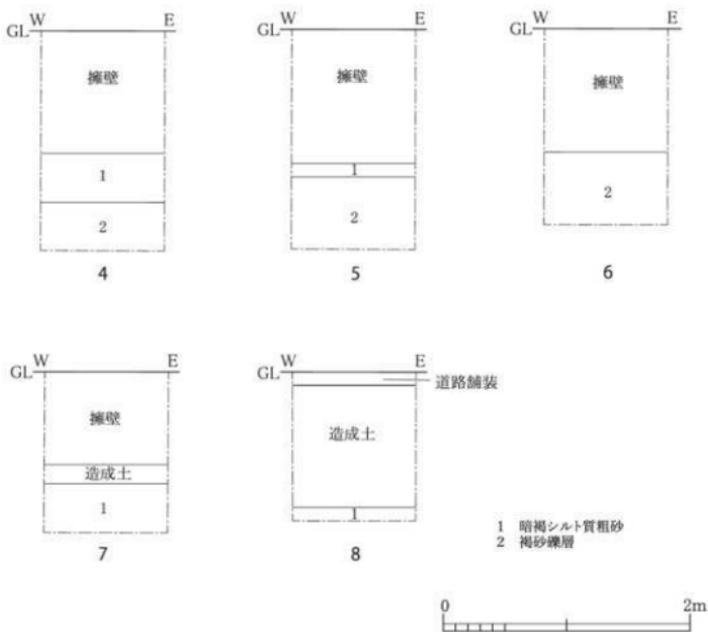
これまでの遺跡内の調査結果から、微高地上に遺跡が確認されているため、周辺の工事等には注意して調査を行っていく必要がある。



記録地点図



R2 土層図



R3 土層図



1 (南から)



2 (南から)



3 (南から)



4 (南から)



5 (南から)



6 (南から)



7 (南から)



8 (南から)

報告書抄録

ふりがな	まいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ		
書名	埋蔵文化財調査報告書		
副書名	令和3年度発掘調査報告		
シリーズ名	福岡町埋蔵文化財調査報告		
シリーズ番号	30		
編著者名	樋口 碧・渡辺 昇		
編集機関	福岡町教育委員会		
所在地	〒679-2280 兵庫県神崎郡福岡町南田原 3116-1 TEL：0790-22-0560		
発行年月日	2023年8月31日		

所収遺跡名	所在地	コード		北緯 度分秒	東経 度分秒	調査期間	グリッド数 調査面積	調査 種別
		市町村	遺跡番号					
南田原字寺居試掘	兵庫県神崎郡福岡町南田原 字寺居 648-1	28443		34度 56分 24秒	134度 45分 24秒	2021年 4月6日	1か所 4㎡	試掘
西田原上野由遺跡 (第6次)	兵庫県神崎郡福岡町西田原 字上野田 1834-2	28443	410091	34度 57分 09秒	134度 46分 00秒	2021年 4月12日	1か所 4㎡	確認
福田字西田黒試掘	兵庫県神崎郡福岡町福田 字西田黒 96-1	28443		34度 57分 48秒	134度 45分 14秒	2021年 4月19日	1か所 4㎡	試掘
南田原条里遺跡 (第48次)	兵庫県神崎郡福岡町南田原 字歳ノ木 2357番1	28443	410046	34度 56分 40秒	134度 45分 13秒	2021年 5月10日	1か所 2㎡	確認
西田原字前畑試掘	兵庫県神崎郡福岡町西田原 字前畑 1614番4、5	28443		34度 57分 18秒	134度 45分 47秒	2021年 5月19日	1か所 4㎡	試掘
南田原条里遺跡 (第49次)	兵庫県神崎郡福岡町南田原 字ナコザ 3043番地	28443	410046	34度 56分 54秒	134度 45分 30秒	2021年 5月24・25日	13か所 52㎡	確認
福田字無量寺試掘	兵庫県神崎郡福岡町福田 字無量寺	28443		34度 57分 50秒	134度 44分 48秒	2021年 7月12日	3か所 6㎡	試掘
南田原字北ノ垣内 試掘	兵庫県神崎郡福岡町南田原 字北ノ垣内 1779番4、5	28443		34度 56分 46秒	134度 46分 02秒	2021年 9月6日	2か所 8㎡	試掘
南田原字平田試掘	兵庫県神崎郡福岡町南田原 字平田 1200-32	28443		34度 56分 31秒	134度 46分 13秒	2021年 9月7日	1か所 4㎡	試掘
南田原字高野試掘	兵庫県神崎郡福岡町南田原 字高野 1133-7、8	28443		34度 56分 10秒	134度 45分 46秒	2021年 9月13日	2か所 8㎡	試掘
山崎字西山所試掘	兵庫県神崎郡福岡町山崎 字西山所 751-1	28443		34度 58分 01秒	134度 45分 14秒	2021年 9月14日	1か所 4㎡	試掘
南田原字西光寺 試掘	兵庫県神崎郡福岡町南田原 字西光寺 1375番	28443		34度 56分 39秒	134度 46分 03秒	2021年 9月28日	2か所 8㎡	試掘
西田原字宮ノ西 試掘	兵庫県神崎郡福岡町西田原 字宮ノ西 1555-1	28443		34度 57分 15秒	134度 45分 52秒	2021年 10月13日	1か所 6㎡	試掘
西田原字裏畑試掘	兵庫県神崎郡福岡町西田原 字裏畑 1502ほか	28443		34度 57分 21秒	134度 45分 50秒	2021年 10月18日	3か所 12㎡	試掘

所在地 所収遺跡名	所在地	コード		北緯 度分秒	東経 度分秒	調査期間	クワット数 調査面積	調査 種別
		市町村	遺跡番号					
西田原字宮ノ前遺跡 (第2次)	兵庫県神戸郡福崎町西田原 字宮ノ前 1330番 1ほか	28443	410133	34度 57分 21秒	134度 45分 50秒	2021年 10月28日	2か所 8㎡	確認
南田原条里遺跡 (第51次)	兵庫県神戸郡福崎町南田原 字東田 2199番 1	28443	410046	34度 47分 14秒	134度 45分 35秒	2021年 11月9日	1か所 4㎡	確認
南田原条里遺跡 (第52次)	兵庫県神戸郡福崎町南田原 字吉田 2778番の一部	28443	410046	34度 47分 53秒	134度 45分 21秒	2021年 11月16日	1か所 4㎡	確認
東田原字通り堂 試掘	兵庫県神戸郡福崎町東田原 字通り堂 1271番 1	28443		34度 57分 13秒	134度 46分 17秒	2021年 11月16日	1か所 4㎡	試掘
南田原字西ノ垣内 試掘	兵庫県神戸郡福崎町南田原 字西ノ垣内 1741	28443		34度 56分 44秒	134度 45分 58秒	2021年 11月25日	2か所 8㎡	試掘
南田原条里遺跡 (第53次)	兵庫県神戸郡福崎町南田原 2274-1ほか	28443	410046	34度 56分 33秒	134度 45分 20秒	2021年 11月25日	1か所 4㎡	確認
福田字前田試掘	兵庫県神戸郡福崎町福田 字前田 268-8	28443		34度 47分 57秒	134度 44分 57秒	2021年 11月26日	1か所 2㎡	試掘
南田原字西光寺 試掘	兵庫県神戸郡福崎町南田原 字西光寺 1397番 5	28443		34度 56分 38秒	134度 45分 58秒	2021年 11月26日	1か所 4㎡	試掘
高岡字ヤブノハナ 試掘	兵庫県神戸郡福崎町高岡 字ヤブノハナ	28443		34度 57分 49秒	134度 44分 15秒	2021年 11月30日	2か所 8㎡	試掘
東田原字岡ノ上 試掘	兵庫県神戸郡福崎町東田原 字岡ノ上 1301番	28443		34度 57分 19秒	134度 46分 18秒	2022年 1月7日	3か所 12㎡	試掘
福田字上垣内試掘	兵庫県神戸郡福崎町福田 字上垣内 1075番 1	28443		34度 57分 53秒	134度 44分 52秒	2022年 1月7日	1か所 4㎡	試掘
高岡字川端試掘	兵庫県神戸郡福崎町高岡 字川端 1574-1、1574-3	28443		34度 58分 08秒	134度 44分 31秒	2022年 1月20日	1か所 4㎡	試掘
西田原字村西試掘	兵庫県神戸郡福崎町西田原 字村西 1200番 7	28443		34度 57分 19秒	134度 45分 38秒	2022年 1月20日	1か所 4㎡	試掘
南田原条里遺跡 (第54次)	兵庫県神戸郡福崎町南田原 719番 8	28443	410046	34度 56分 31秒	134度 45分 25秒	2022年 1月21日	1か所 4㎡	確認
南田原字山ノ東 試掘	兵庫県神戸郡福崎町南田原 字山ノ東 1188、1189、1196	28443		34度 56分 33秒	134度 46分 08秒	2022年 2月15日	3か所 12㎡	試掘
西田原字宮ノ前 試掘	兵庫県神戸郡福崎町西田原 字宮ノ前 1782番 1の一部	28443		34度 57分 11秒	134度 45分 54秒	2022年 2月22日	1か所 4㎡	試掘
大貫字前谷試掘	兵庫県神戸郡福崎町大貫 字前谷 2558、2559	28443		34度 57分 03秒	134度 47分 04秒	2022年 3月8日	1か所 4㎡	試掘
山崎地区ほ場整備 事業に伴う試掘	兵庫県神戸郡福崎町山崎	28443		34度 58分 06秒	134度 45分 33秒	2021年 11月29日 ～12月23日	62か所 248㎡	試掘
南田原条里遺跡 立会	兵庫県神戸郡福崎町南田原 字東田	28443	410046	34度 56分 38秒	134度 45分 31秒	2022年 1月25日 ～2月22日	5か所 -㎡	立会
三木家住宅関連遺構 立会	兵庫県神戸郡福崎町西田原 字裏畑	28443		34度 57分 21秒	134度 45分 50秒	2022年 2月2～14日	-	立会

2023年8月31日発行

福崎町埋蔵文化財調査報告30

—令和3年度発掘調査報告—
埋蔵文化財調査報告書

編集発行 福崎町教育委員会
〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1

印刷 クリヤ印刷所